発達障害児の医療・療育

子どもの行動を理解し、問題行動にどう対処するか

医療法人童心会 まつもとこどもクリニック 児童発達支援施設・放課後等デイサービス事業所 FÄRG

松本 眞一 松本真由美中嶋 沙織

2021.01.13熊本学園大学付属敬愛幼稚園研修会

当院の概要

- ▶一般小児科(外来:約80人/日、予防接種:約20人/日)
- トアレルギー専門施設
 - (日本アレルギー学会認定外来見学実習施設)
 - ・食物負荷試験:約200件/年
 - ・アトピー性皮膚炎・食物アレルギー相談:約200件/年
 - •食物緩徐経口免疫療法:約150例
- ▶新規の発達相談:約10例/月
- ▶ 定期経過観察中の発達障害児:約200人

自閉症の早期発見・早期療育が抱える問題点

- ▶自閉症の早期診断自体の難しさ、自閉症に詳しい 医師の数が少ない
- ▶診断がついたとしても、その後に待ち構えている保護者の「どうしたらいいの?(療育は?)」という当たり前な疑問に答えられる地域は少ない

早期療育に必要なもの

- ▶自閉症は脳の機能障害からくる発達障害であるが、 自閉症そのものを治療することは現時点では不可能。
- ▶早期療育によって二次障害を予防することこそが、 現在行いうる唯一の治療。
- ▶早期療育は、機を逸せず教育的なアプローチを用いて治療すること。

早期療育を行う上での問題点

▶早期診断の不確実性

▶診断と療育の場の連携

▶早期であるがゆえの親の精神保健に配慮した支援

◆早期診断の不確実性

自閉症の診断は人や物へのかかわり方や 興味の向け方といった行動を分析することによってのみ可能

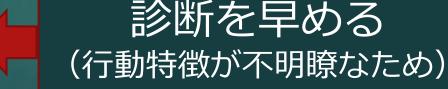
行動特徴を見定める (診断の精度が上がる)



診断の時期が遅くなる



診断が不確実



◆早期診断の不確実性を補うもの

- ▶ 療育に空白の期間を作らないために、病因(ICD-10での確定診断)に拘らない。
- ▶ 現状での発達の状態、問題点で暫定診断し、療育的介入をしながら、児の状態の変化を評価しつつ、より正確な診断に至る。 (発達論的診断)

乳幼児健診かかりつけ医気付き

暫定診断と診断の見直し

定期的な観察

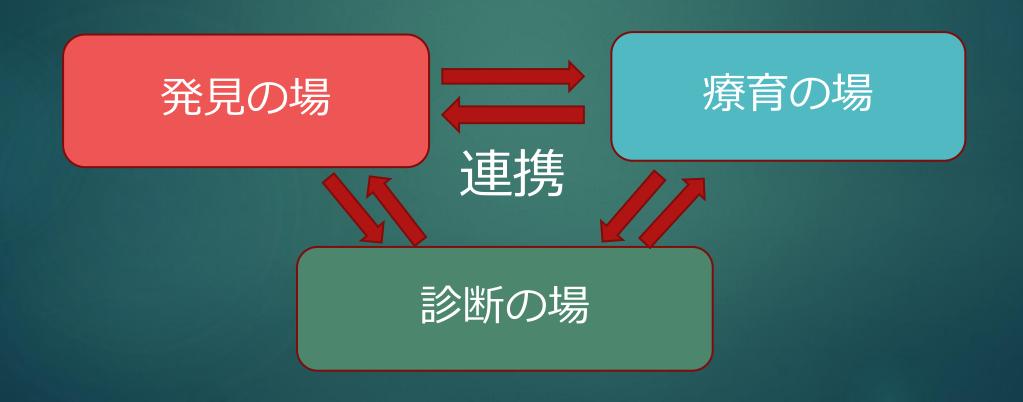
定期的な観察

福祉施設 療育的な介入

専門医療機関確定診断

◆診断の場と療育の場の連携

発達障害では発見の場、診断の場、療育の場が同じではない。 早期療育を行うためには、発見の場、診断の場、療育の場の連携が不可欠



行動特徴を指標にして診断

子どもの障害を疑う理由とその確認、適切な対処法について丁寧に説明

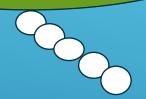
- ・親が努力してきた子育てに共感
- ・自閉症の原因が親の養育態度に よるものではないことを伝える
- ・今後の療育プランを提示し、将来の不安をできるだけ払拭する

子供の異常さを意味する根拠として 取られることに違和感、反発

親を納得させなければ、反発と拒絶

「どうしてうちの子に」「将来どう なるのだろう」と悩み苦しむ。 「育て方が悪かったのではないか」 という自責の念。

育児の困難性から疲れ果てていたり、 自分の子どもと交流ができないこと で疎外感を感じる。 幾つかの能力の 発達の遅れ 生活がうまく いかない状態



発達の凸凹

不適応

一 発達障害



環境とのミスマッチ

状況依存性

幾つかの能力の発達の遅れ

生活がうまくいかない状態



支援の目標は不適応を減らし発達を伸ばすこと



凸凹があっても、毎日がスムーズにできること

当院での発達障害への取組み(現在)

- ▶ 診断(発達論的診断、支援の必要度の診断:MSPA)
- ▶ 治療(薬物療法)
- ▶ 自閉症スペクトラムに対する療育 ABA(Applied Behavior analysis)
 - ·DTT (不連続試行法)
 - ・VB(Verbal behavior:要求言語と指示言語の表出を目指す)
 - · PRT(基軸反応訓練)

PECS

感覚統合訓練

▶ ADHDの家族に対して ペアレント・トレーニング(豆の木式)

薬物治療

- ▶ 睡眠障害 アタラクスP, リスペリドン、甘麦大棗湯、メラトベル
- ▶ 苛々
 抑肝散、抑肝散陳皮半夏、
- ▶ ADHD アトモキセチン、メチルフェニデート、ガンファシン
- ▶ 抗精神病薬(D2受容体遮断薬) リスペリドン、ハロペリドール

発達障害の検査

- ▶ 発達検査 新版K式発達検査
- ▶ 知能検査 田中ビネーV WISC-IV
- ▶ 自閉症の早期発見 M-CHAT
- ▶ 支援の必要度とその項目の診断 ▶ 心理検査 MSPA、CARS バウム、ソーシャルスキル尺度

- ▶ 二次障害の検査 M.I.N.I ODBI
 - Hamilton
- ► 不安尺度 STAI、CMAS
- ▶ スクリーニング用 LD-DI、ADHD-RS、ASSQ
- ▶ 心理検査 バウム、ロールシャッハ

当院での発達診療の流れ

- ▶ 受診前にADHD-RS, ASSQ, 基礎調査票(発達障害に気付いて育てる 完全ガイド 黒沢礼子編 講談社:幼児用、小学生用)を記入して もらい、受診当日持参してもらう。
- ▶ 受診の動悸・目的、これまでの経過、今困っていることの聴取
- ▶ 発達検査、知能検査、心理検査などの検査を必要に応じて行う。
- ▶ 診察し、行動の状態を観察。暫定診断を行う。
- ▶保育園、幼稚園、学校での状態を把握するため基礎調査票、ソーシャルスキル尺度を記載してもらい再来してもらう。

医療で提供される発達障害への支援

見立て	特性の発見
7.17	特性の説明
診断	診断
	除外診断
	生物学的検査
	非生物学的検査
	診断書の発行
	関わり方・環境調整の助言
対応	言語療法、作業療法、SSTなど
	養育者の学習会、ペアレント・トレーニングなど
	薬物療法
	「二次障害」(併存症)の治療
	入院治療

声かけ変換表(指示・命令・禁止) 1

before		after	memo
いい加減にしなさいツ!	→	あと何分で終われそう?	タイマー併用
ちょっと待って!	→	あと○分(秒)だけ待ってね(^-^)	具体的数字など
うるさい!	→	声を「これくらい」にしてくれる?	実例
	→	声をボリューム2にしてくれる?	スケール、TVの音等
走るな!	→	歩こうね	やっていいこと
危ない!	\rightarrow	止まって!	具体的に
危ないからダメ!	→	お母さん、ケガが心配だなあ	気持ちを伝える
	\rightarrow	もしケガしたら、今日は出かけられないけど、それでも大丈夫?	結果の予測を伝える
早く支度しなさいツ!	→	5分で終われば、あと10分遊べるよ	メリットを伝える
早くおフロ出なさいッ!	\rightarrow	夕飯はカラアゲだよ	興味のある情報
あー、もう、だから言ったでしょッ!?	→	どうすれば良かったんだっけ?	問いかけ
何度言ったら分かるのッ!	\rightarrow	どうしたらいいと思う?	具体案を促す
(こぼしたら)拾って!	→	ニンジン逃げた!捕まえてくれる?	興味を引く
(失敗して)あーあ、もう!!	\rightarrow	雑巾で拭けばOKだよ	対処法を伝える
○太郎一!○太郎~!○太郎~ッ!!	→	(そばまで行って気づかせる)	肩を軽く叩く、など
もう!いつンなったら宿題やるのッ!!	\rightarrow	宿題、何時からやる予定?	
	→	○時までなら、お母さん手伝えるよ	損·得
	\rightarrow	○時までに終われば1ポイントおまけ	
ほらぁ!お友だち待ってるでしょ!?	→	あと何回数えたら替われそう?	ブランコなど
もう!早く帰るよッ!	→	あと3回だけ待ってるね	指を見せる→折る
(兄弟を叩くなど)やめなさい!!!	\rightarrow	(終わったら)やめれたね。 ありがとう	兄弟は別にケア

声かけ変換表(指示・命令・禁止)2

before		after	memo
(転んで)痛くない、痛くない、痛くな~いッ!	→	痛かったね~(^-^)	共感すれば早く治まる
(イヤなど)そんなこと言ったらダメ!	\rightarrow	そうか~、イヤなんだね~	感情は否定しない
このワカランチン!もう知らんッ!!	→	どうすれば分かるかお母さんに教えて	分からなければ聞く
雨なんか降らんよ~、大丈夫、大丈夫♪	\rightarrow	雨は一%の確率だけど、その時は一一すればいいからね	変更の可能性と対処を伝える
人のメーワクになるからやめなさいッ!	→	音が大きいと頭痛くなる人もいるから、病院ではゲームの音OFFにしてね	迷惑の具体的な理由とやることの 指示
○太郎!!!(バクハツ!)	\rightarrow	(事前に)今、堪忍袋2つ目。次やったらバクハツするよ	(コミカルに)事前警告を与える
何やってんのツ!バカタレ!	→	さすが、天才! 一緒に片付けよっか	天才のしりぬぐい

声かけ変換表(状況判断編)

before		after	memo
集中しなさい!	→	何やってたんだっけ?	今に戻す
これして!あれして!	→	どうすればいいと思う?	考えを聞く
	\rightarrow	どうすればいいんだっけ?	記憶の手がかり
もう、何やってんの!?	\rightarrow	○○さんは 今何してる?	手本に気づかせる
	\rightarrow	今、何するときだと思う?	周りを見せる
空気読んで!	\rightarrow	今はみんなで○○しようとしているね	状況を伝える
	→	○○さん、体調が悪いみたいだよ	状態を伝える
しつこい!	\rightarrow	ママ、だんだんハラ立ってきたよ	感情を伝える
ま~た忘れてる!	→	それでOK?	確認する

声かけ変換表(叱咤激励編)

before		after	memo
○年生ならみんなできてるよ	→	去年よりできるようになったね!	基準は本人
次は〇〇もできるといいね	\rightarrow	(これが)できたね!	次の課題を言わない
あ~、ここが間違ってるよ	\rightarrow	おお!ここまではできているよ	できている方を見る
○○君、すごいね、うちの子なんて…	\rightarrow	○○君、すごい	手前を下げない
がんばってね!	→	がんばっているね!	期待ではなく、状態を褒める

声かけ変換表(卒業編)

before		after	memo
雑巾で拭けば0Kだよ	→	それで(どうする)…?	自分で対処する
音が大きいと頭痛くなる人もいるから、病院ではゲームの音0FFにしてね	→	ここは(どんな場所)…?	自分で判断する
お母さん、ケガが心配だなあ	→	そうすると(どうなる)…?	自分で予測する
どうすればいいと思う?	→	例えば(具体的には)…?	具体的に行動する
声を「これくらい」にしてくれる?	→	(小さな声で話しかける)	自分で修正する
今はみんなで○○しようとしているね	→	(ツンツンつつく、チラッと見る)	自分で気がつく
がんばってるね!	→	(離れて見守る)	自分でできる!

発達障碍児が引き起こす問題行動にどう対処するか

問題行動に対処するためには

- ▶ 問題行動が何で起こっているかを知ること
- ▶ それを強化している要因が何かを理解することが必要。

そのために子どもの行動を分析し理解することが必要

Applied Behavior Analysis (応用行動分析)

ABAの基礎

行動を理解しよう

- 1. 強化
- 2. 消去
- 3. 罰
- 4. 行動をする前の出来事 問題行動の原因を理解する 問題行動に対処する
- 1. 消去
- 2. DRO(他行動分化強化)
- 3. 罰
- 4. 事前の工夫

教え方の基本

- 1. プロンプトと強化
- 2. ディスクリートトライアル
- 3. ランダムローテーション

行動を理解する①

強化

▶強化とは 何らかの行動直後に「褒美」をもらうと、 以後その行動は増加する。

行動+ ほうび(強化子)行動の増加(強化子)







結果



行動の増加

お手伝い

憂め言葉

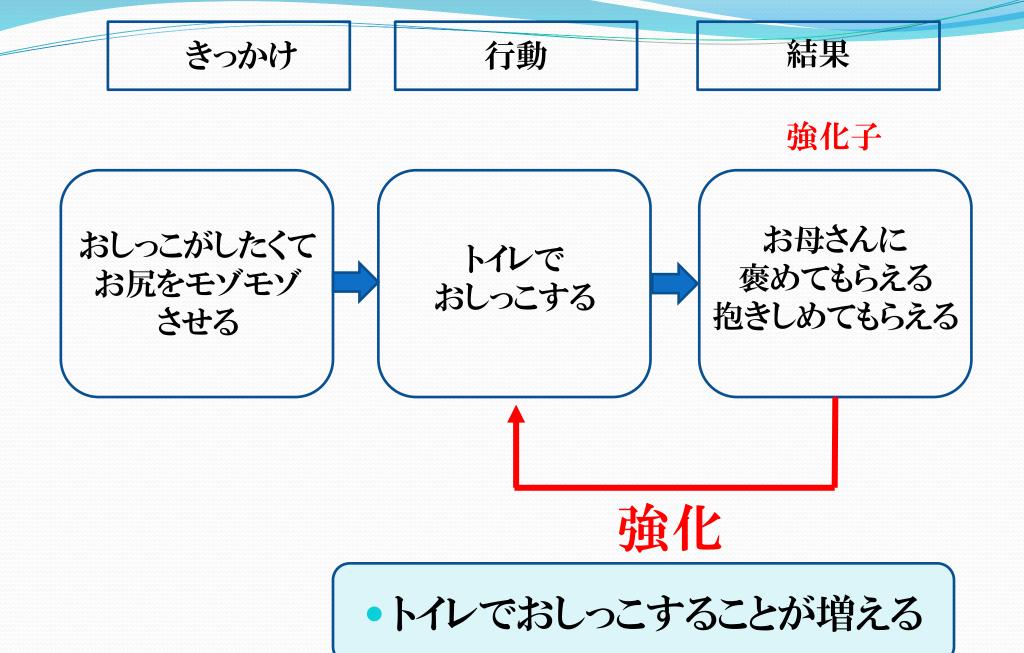


よくお手伝い するようになる

積極的強化と消極的強化

• 積極的強化 行動の直後に「褒美を与えることによって」 行動が増えること

・消極的強化 行動の直後に「不快を取り去ることによって」 行動が増えること



きっかけ

行動

結果

強化子

帰ったら弟とボール遊びを する約束をしていた。

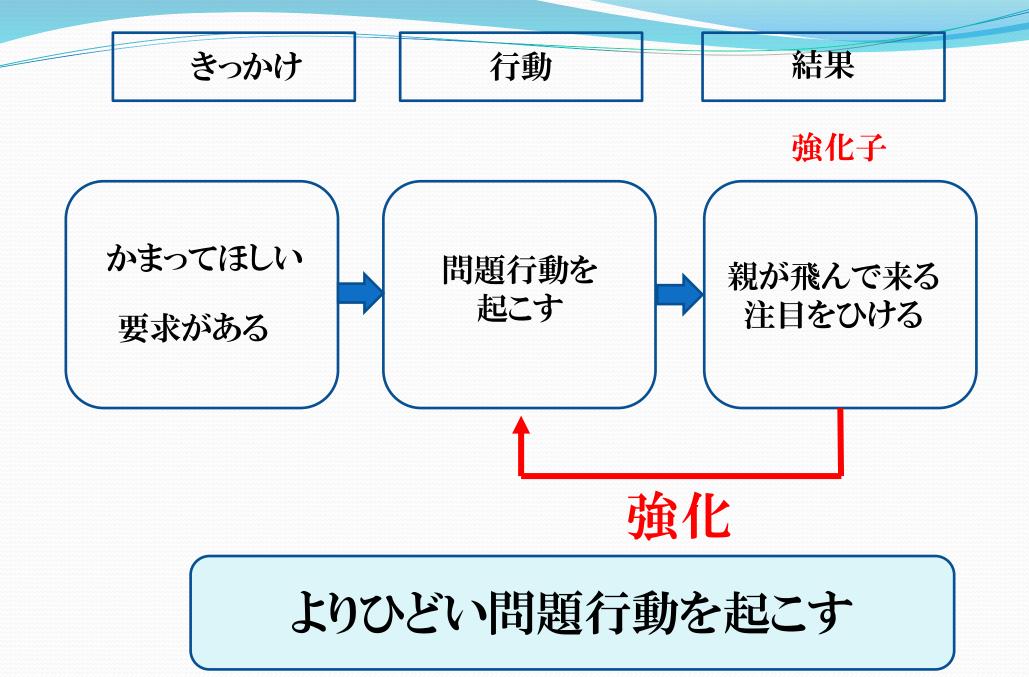
テーブルの上にポッキーがあった。

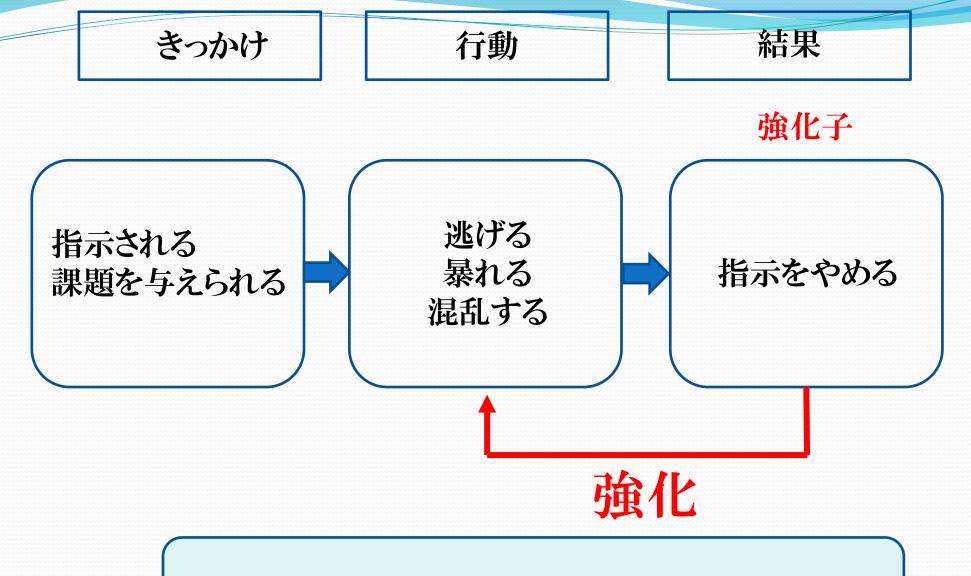
泣いてポッキーを 欲しがり、ボール遊び をしない

母親が根負けしてポッキーがもらえた

強化

- ボール遊びをしなくなる
- ・ポッキーをもらうために余計に愚図る





課題から逃れるためよりひどく暴れる、逃げる

ABAの基礎

行動を理解しよう

- 1. 強化
- 2. 消去
- 3. 罰
- 4. 行動をする前の出来事 問題行動の原因を理解する 問題行動に対処する
- 1. 消去
- 2. DRO(他行動分化強化)
- 3. 罰
- 4. 事前の工夫

教え方の基本

- 1. プロンプトと強化
- 2. ディスクリートトライアル
- 3. ランダムローテーション

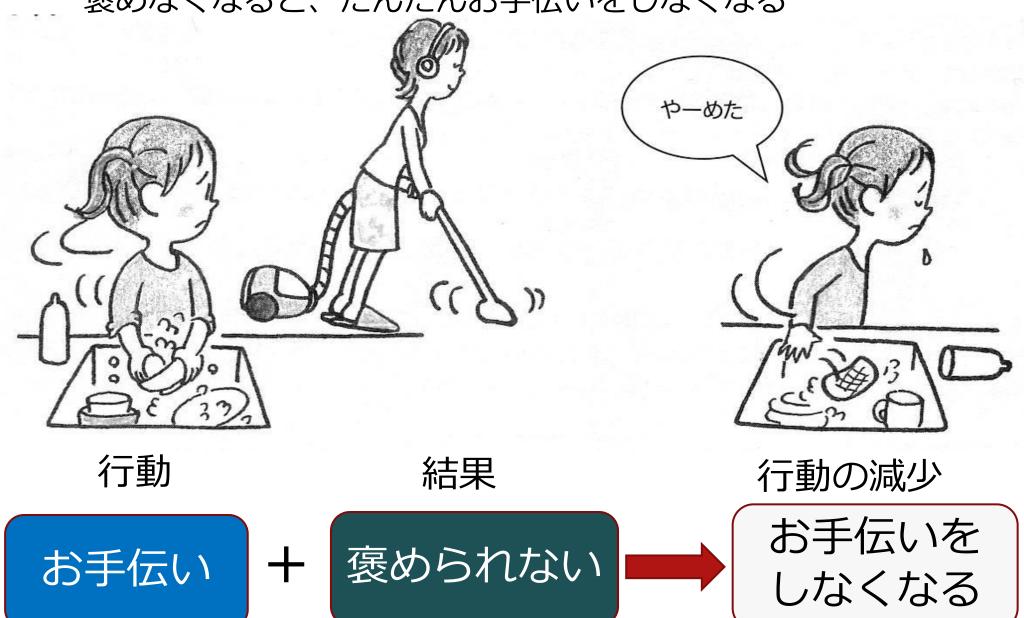
行動を理解する② 消去

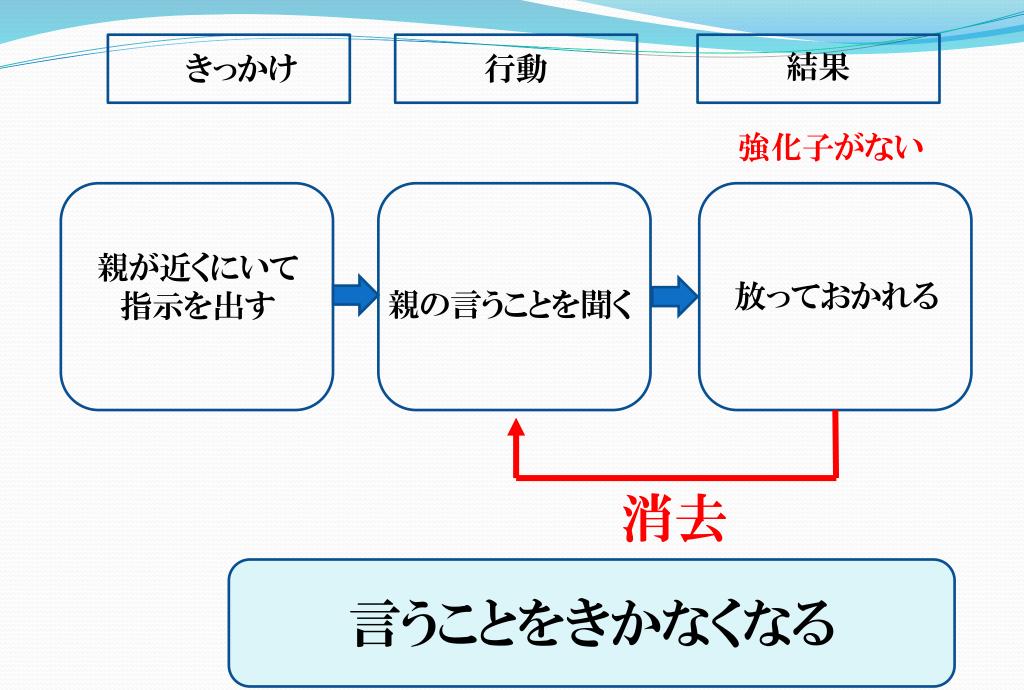
▶消去とは

何らかの行動の後に褒美となる出来事が与えられないと その行動は減少する

行動 + 褒美なし → 行動の減少

お手伝いをしてくれる子どもに対して、初めは褒めていた親が、 褒めなくなると、だんだんお手伝いをしなくなる



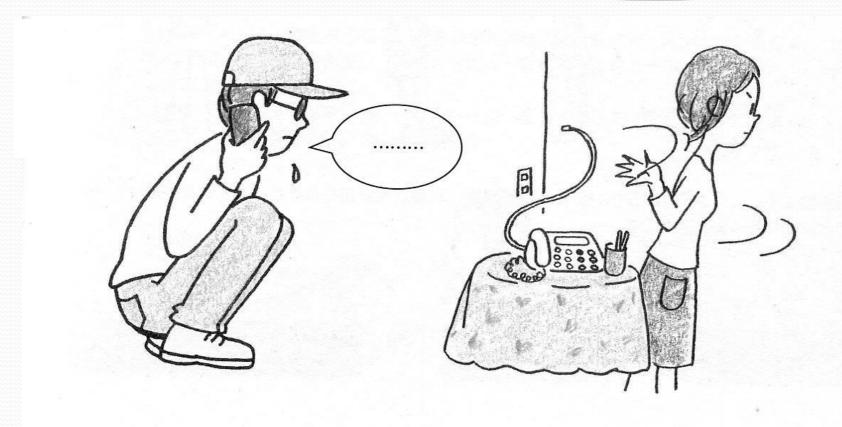


「消去バースト」に注意し乗り越える

- 行動を消去しようとすると、相手は強化子を得ようとして、一時的に 行動をエスカレートする。(=「消去バースト」)
- 困った行動に対して消去で対処する場合は、この「消去バースト」を 乗り越える心構えが必要

困った行動の減少

「いたずら電話」への対応は電話に出ないことが最も効果的



夜中の無言電話に、「もうやめてください」と「お願い」すると、面白がって益々かかってくる。悪戯する者にとって、「相手の困った反応」が最大の強化子だから。

これに対し、行動を消去しようとすると、電話主は強化子を得ようとして、一時的に行動をエスカレートさせる(消去バースト)。

困った行動に対して消去で対処しようとするときは、この消去バーストを乗り越える心構えが必要である。

ABAの基礎

行動を理解しよう

- 1. 強化
- 2. 消去
- 3. 置
- 4. 行動をする前の出来事 問題行動の原因を理解する 問題行動に対処する
- 1. 消去
- 2. DRO(他行動分化強化)
- 3. 罰
- 4. 事前の工夫

教え方の基本

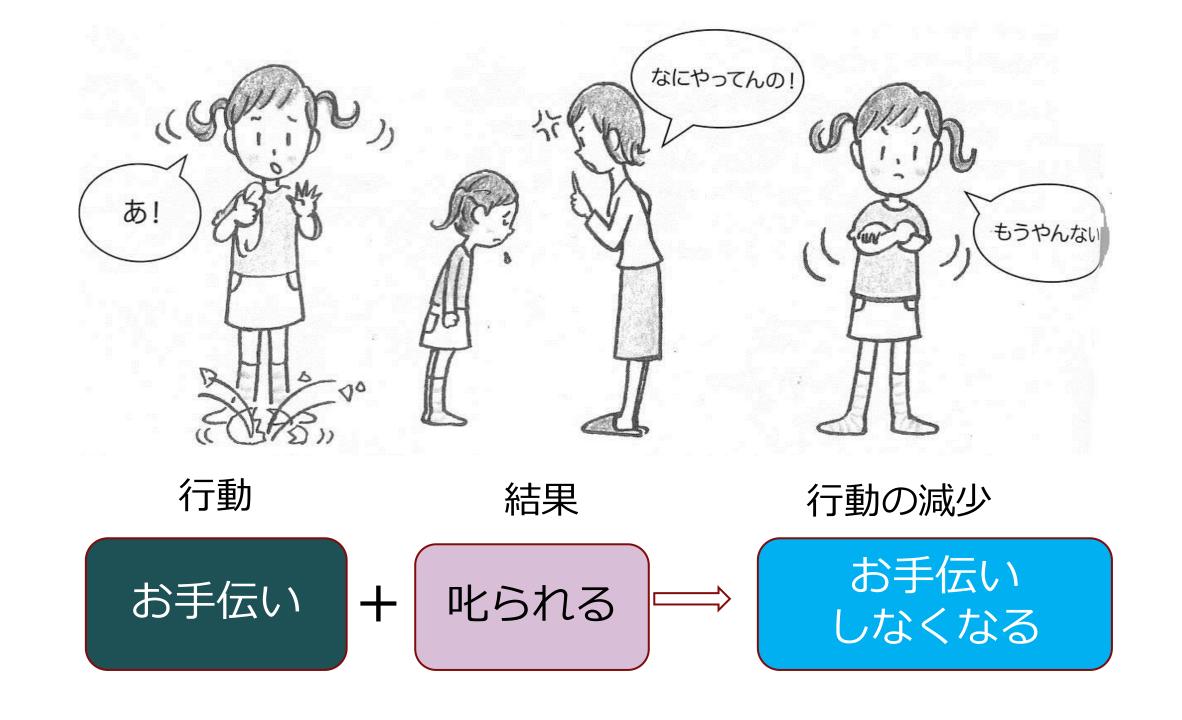
- 1. プロンプトと強化
- 2. ディスクリートトライアル
- 3. ランダムローテーション

行動を理解しよう③

問題行動を減らすために罰を用いるのは、発達障害児に対しては 出来れば避けたいもの

▶罰とは

行動の直後に不快な出来事があると、以後その行動は減少する



- 意図して叱ることだけが罰ではない。
- 行動の結果として不快な出来事が起こり、それによって 行動が減少するのも罰



行動 熱いやかん に触る

火傷をする

結果

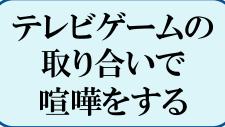


熱いやかんに 触らなくなる

積極的罰と消極的罰

- ・積極的罰 行動の直後に不快を与えることで 行動が減少する
- ・消極的罰 行動の直後に褒美(快)を取り去る ことで行動が減少する

※ 積極的罰







テレビゲームの 取り合いが減る

※ 消極的罰



テレビゲームの 取り合いで 喧嘩をする テレビを消す ゲーム機を取り 上げる



テレビゲームの 取り合いが減る

ABAの基本原理(1):強化

例:お手伝い+ほめる→お手伝いが増える

ABAの基礎

行動を理解しよう

- 1. 強化
- 2. 消去
- 3. 罰
- 4. <u>行動をする前の出来事</u> 問題行動の原因を理解する 問題行動に対処する
- 1. 消去
- 2. DRO(他行動分化強化)
- 3. 罰
- 4. 事前の工夫

教え方の基本

- 1. プロンプトと強化
- 2. ディスクリートトライアル
- 3. ランダムローテーション

行動を理解しよう4

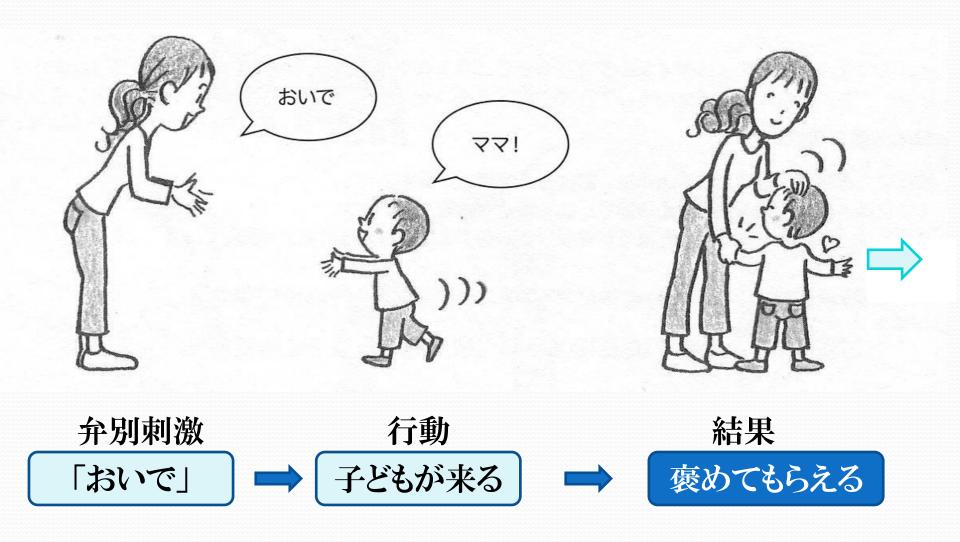
人の行動はその直後に起こる出来事により、 その後の行動が左右される。

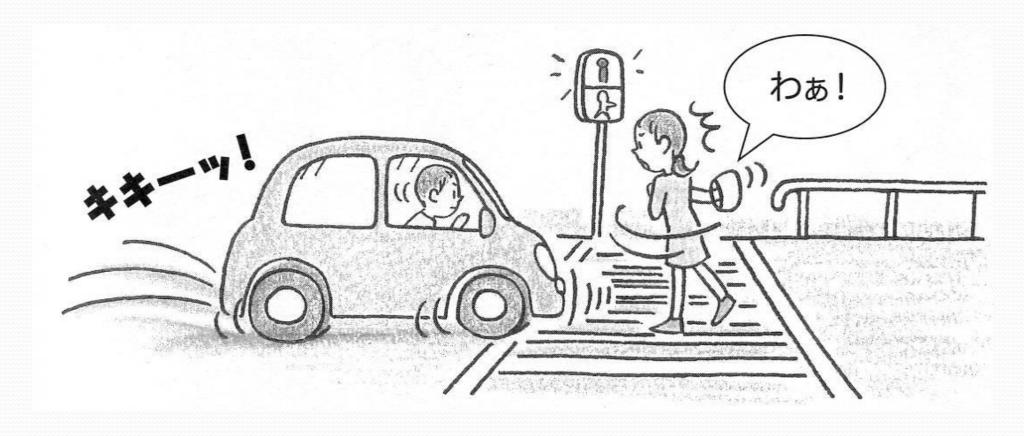
・行動後に(本人にとって)良いことがあればその行動は増える(強化)

・行動後に(本人にとって)良いことが与えられない(消去)、不愉快なことがある(罰)と その行動は減る。

行動を理解しよう4 行動する前の出来事

1. 弁別刺激





弁別刺激

行動

結果

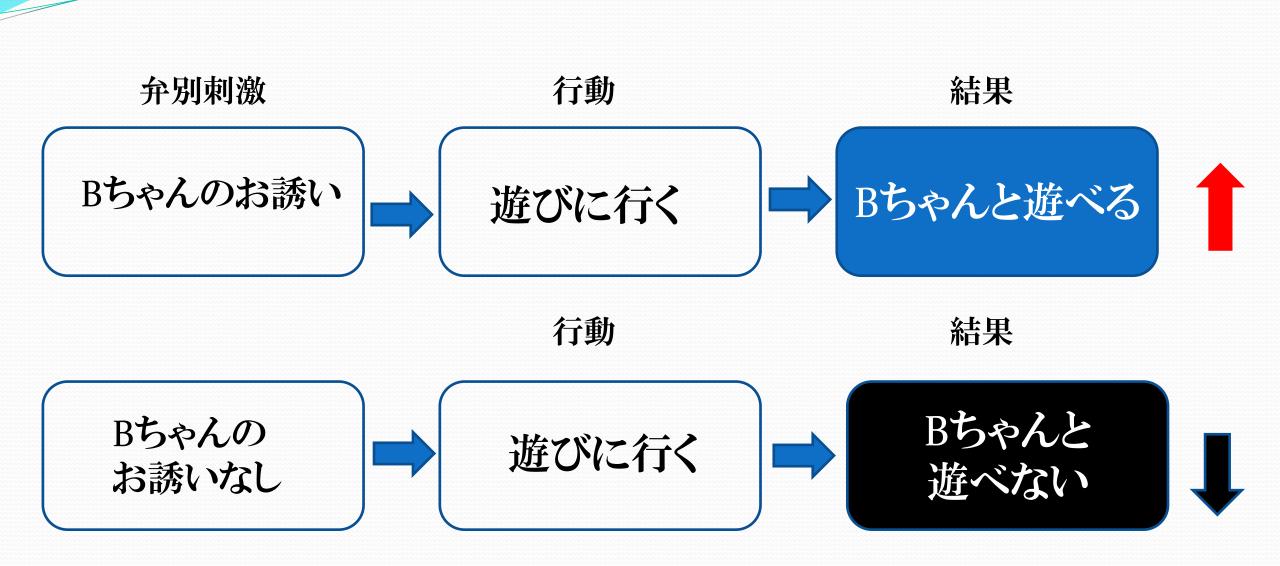
青信号



横断歩道を渡る

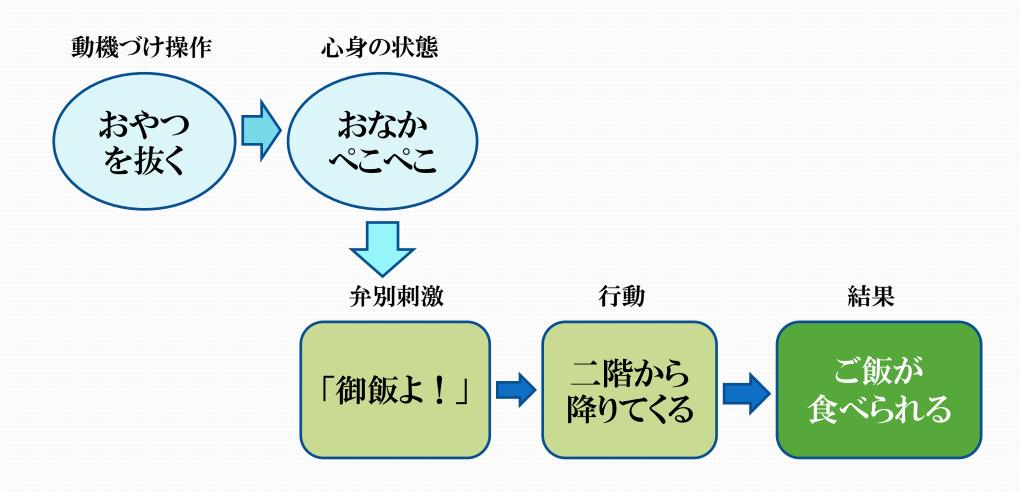


向こう側へ行ける



2. 動機づけ操作

動機づけ操作: ある行動を引き起こしやすい(或いは引き起こしにくい) 心身の状態を作り出す事前の働きかけ



ABAの基礎

行動を理解しよう

- 1. 強化
- 2. 消去
- 3. 罰
- 4. 行動をする前の出来事

問題行動の原因を理解する

問題行動に対処する

- 1. 消去
- 2. DRO(他行動分化強化)
- 3. 罰
- 4. 事前の工夫

教え方の基本

- 1. プロンプトと強化
- 2. ディスクリートトライアル
- 3. ランダムローテーション

問題行動とは

「問題行動」とは本人や周囲の人にとって害や危険をもたらし、止めさせたい・減らしたい行動のこと

問題行動の例

- ・かんしゃく、パニック
- ・こだわり、儀式行為
- ・いたずら、他害行為
- 危険行為(高い所に上る、車に突進する)
- 自傷行為(頭をガンガンぶつける)
- 迷惑行為(他人の家に上がり込む、知らない人の顔を覗き込む)
- 自己刺激(手をひらひら、ピョンピョン飛び、奇声、独り言)

問題行動の原因を理解する

- ●発達障害を持つ子どもたちは、しばしば癇癪や攻撃などの 問題行動を起こす。
- ●これに対処するためには、行動の原因、行動が何により強化 されているかを理解することが不可欠。



問題行動自体ではなく、その前後の出来事の観察が必要大抵の行動はその直後の出来事によって強化されている

問題行動の直後に何が起こっているかに注目

1. 問題行動の原因を探る「ABC分析」

▶問題行動を

(A:Antecedent) 事前の出来事(先行条件)

(B: Behavior) 行動

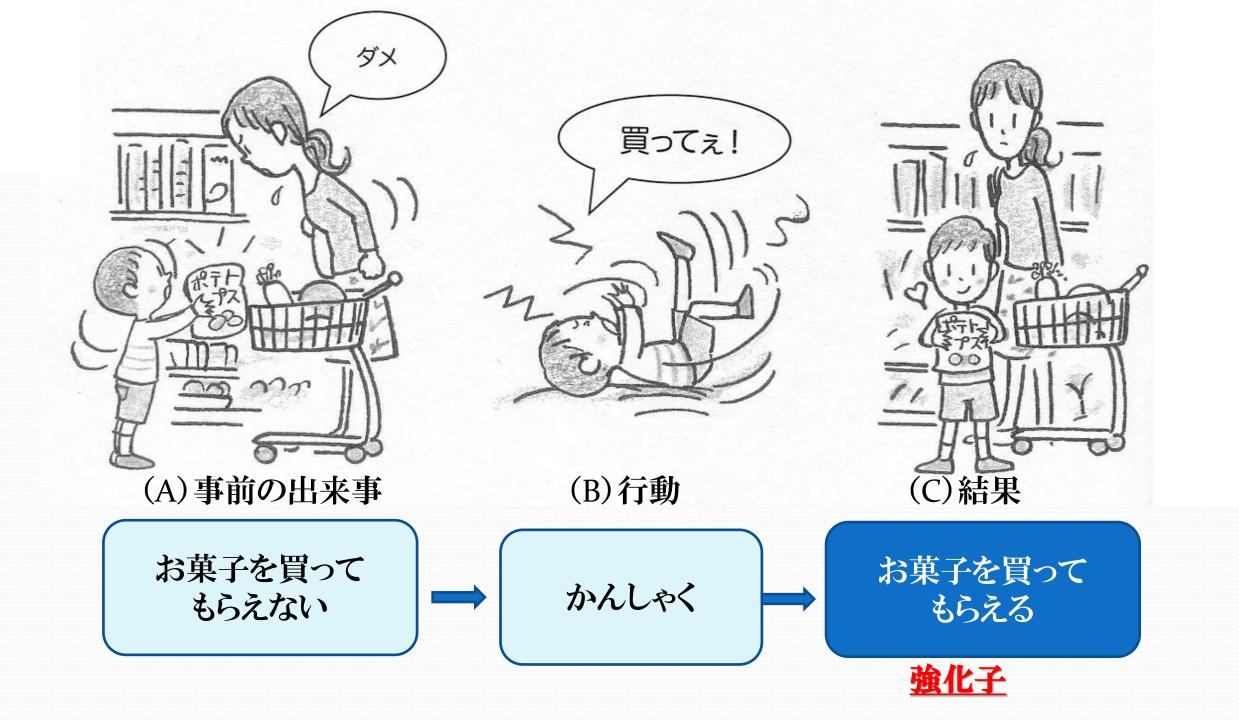
(C:Consequence) 結果

に整理し、そこから問題行動の強化子を探る

「ABC分析」

問題行動の四大強化子

- 一要求の実現
- 2嫌な事態の回避
- ③注目の獲得
- 4感覚刺激



①要求の実現

• 問題行動の結果、本人の要求がかなうことが強化子になっている場合

問題行動が維持されるためには、毎回強化される必要はなく、 時々でも強化されれば、行動は維持される。

(「間欠強化」という)

母親が大抵は子どもに我慢させていても、時々でも癇癪に耐え切れずに買ってしまうと「間欠強化」が成立する。

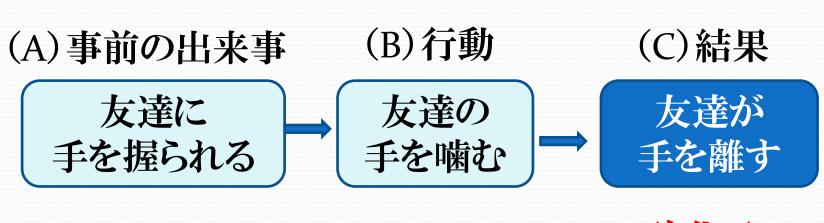
2回避

問題行動をした結果、嫌な事態を回避できると、その問題行動は強化される。

(例) A君は友達に手を繋がれることが嫌い。

A君はお遊戯で手を握られると、いきなり友達を噛んでしまう。 噛まれた子供は びっくりして手を離してしまう。 A君は手をつながずに済む。

手を離すことが強化子になっている可能性がある。





強化子

2回避

(例)A君は友達が周りでわいわい騒ぐのが苦手。

友達が急に近寄ってくると、その子を突き飛ばす。その友達はびっくりしてA君の傍から離れて行き、結果的にA君の周りは静かになる。

 (A)事前の出来事
 (B)行動
 (C)結果
 うるさい友達が 近寄ってくる
 友達を 突き飛ばす
 大達がいなくなり 静かになる

強化子

3注目

・相手や周囲の反応が強化子になっている場合。

(A) 事前の出来事

(B) 行動

(C)結果

先生に注目されていない

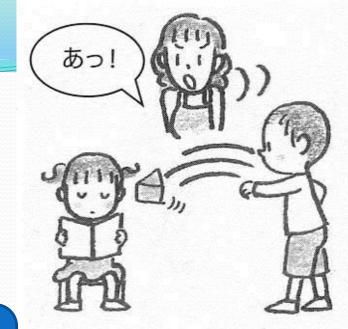
→ おもちゃを 投げる



先生の注目をひける

強化子

周りに大勢の子どもがいるときに、おもちゃを投げる行動に対して、 先生が「あっ!」「だめっ!」と大声で注意すると、その反応が「注目」 になって、子どもの投げる行動が強化される



3注目

(例)

C君は教室で誰にもかまわれず、ポツンとしている。

C君が机にガンガン頭を打ち付け始めると、先生がそばに寄ってきて「どうしたの?! C君」と声をかけた。

(A) 事前の出来事

(B) 行動

(C)結果

誰にも かまわれない



自傷行為

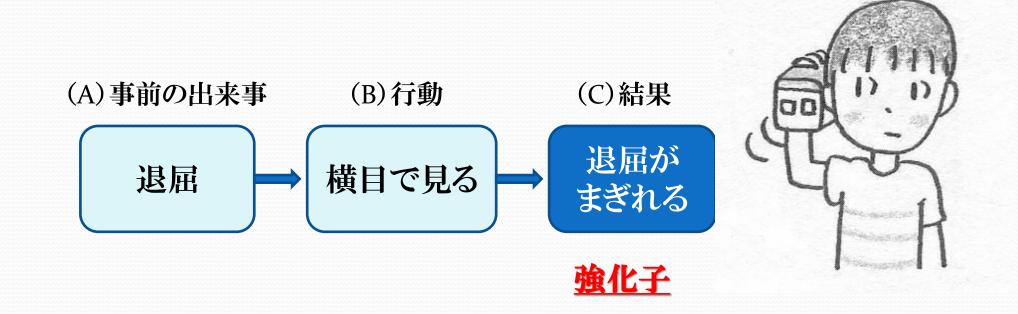


先生が優しい声をかける

強化子

4感覚刺激

自分の行動が引き起こす感覚が、快を生み出している場合。手をひらひらしたり、車を目の横で動かしたり、回るものに見入ったりするのは、大抵、退屈がまぎれるという感覚刺激が強化子になっている。(=自己刺激)



4感覚刺激

- ・社会性や想像力に障害を持つ自閉症児は、 玩具遊びや関わり遊びが苦手
- ・絵本やアニメを見ても、ストーリーを楽しめない

遊びや娯楽から 脳に心地良い 刺激を受けられない

- 手をひらひらする
- 指をくねらせる
- ・身体を揺する
- ・奇声を発する

単調ながら 脳に必要な 刺激を与えている

自傷行為

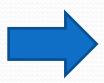
「注目」が自傷行為の 強化子の場合



人がそばにいるときにしか 自傷行為をしない

「感覚刺激」が自傷行為の 強化子の場合

本来痛いはずの行為が、次第に 感覚が鈍くなって、逆に快感に変化 している



誰もいない部屋で 黙々と机に頭をぶつける 自傷行為をする

ABAの基礎

行動を理解しよう

- 1. 強化
- 2. 消去
- 3. 罰
- 4. 行動をする前の出来事 問題行動の原因を理解する 問題行動に対処する
- 1. 消去
- 2. DRO(他行動分化強化)
- 3. 罰
- 4. 事前の工夫

教え方の基本

- 1. プロンプトと強化
- 2. ディスクリートトライアル
- 3. ランダムローテーション

問題行動の対処①消去

問題行動の消去

強化子

消去の方法

①要求の実現

 \longrightarrow

要求を叶えさせない

②嫌な事態の回避 →

回避させない

③ 注目の獲得

 \longrightarrow

注目しない

4 感覚刺激

 \longrightarrow

感覚刺激を与えない

問題行動に対処する①消去

①癇癪の消去

癇癪やパニックは、大抵の場合、癇癪を起した結果、自分の要求が時々でも叶ったり、声かけなどの注目が与えられることにより強化される。

子どもが癇癪を起こしても、絶対に要求を叶えないこと。嫌な事態を回避させない

なだめない 叱ることも一種の注目になるので、無視を貫き、叱らない 安全だけを確保して収まるのを待つ

消去バーストに注意する。エスカレートしたときに反応してしまわないこと完全に収まりきるまでは、声をかけないこと

癇癪に対して強化子を与えず、消去する

スーパーなどの公共の場で癇癪を起したら、黙って迷惑のかからない隅の方に連れて行って そこで好きなだけ泣かせる。収まるまで1時間以上かかっても我慢して収まるのを待つ。 収まったら、何事も無かったかのように買い物を続ける。

②消去にあたって注意すべきこと

1消去バーストに注意

癇癪を消去しようとすると、消去バーストが起こり、一時的に癇癪が激しくなる。



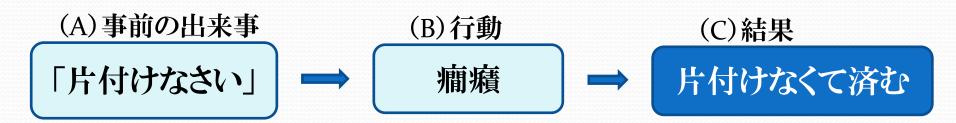
それまではひっくり返って泣いていただけだったのが、急に頭をガンガン床にぶつけたり、人前でパンツを脱いだり、鋏で自分の髪を切ったりする。 (=シェイピング)

その行動に対して声をかけたり、子どもの要求を叶えたりすると、それが強化子になり、それ以降、癇癪はかえって激しくなる。

行動が増幅することを予防するために、 消去バーストが起こっても反応しない覚悟が必要 (ただし安全性は確保する)

2 消去 ≠ 無視

家庭や園で、子どもにおもちゃを片付けなさいと指示したら嫌がって癇癪を起こしたとする。 この子は多分、これまでに癇癪を起した結果、おもちゃを片付けずに済んだ経験があるだろう。



片付けさせないままで無視していてはかえってこの子の要求を叶えて、強化してしまう。

無視がいつも消去になるとは限らない。 消去とは行動の結果、本人に得をさせないこと

大人がさっさと殆どを片付けてしまう。 最後は子どもの手を取って 残りの1~2個を一緒に片付けさせる。 その後は泣きやむまで放置する。

ABAの基礎

行動を理解しよう

- 1. 強化
- 2. 消去
- 3. 罰
- 4. 行動をする前の出来事 問題行動の原因を理解する 問題行動に対処する
- 1. 消去
- 2. DRO(他行動分化強化)
- 3. 罰
- 4. 事前の工夫

教え方の基本

- 1. プロンプトと強化
- 2. ディスクリートトライアル
- 3. ランダムローテーション

問題行動に対処する 2DRO

問題行動に効果的に対処するためには、問題行動に強化子を与えない(消去)だけでは、しばしば不十分な場合が多い

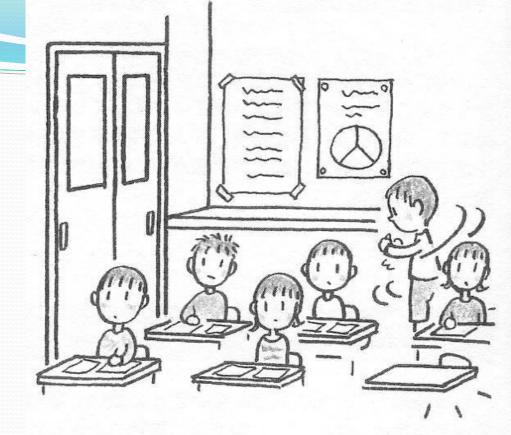
消去と並行して、問題行動以外の適切な行動を強化することによって、より効果的に問題行動を減らすことができる。

これをDRO (Differential Reinforcement of Other Behavior: 他行動分化強化)という

1) DRO

小学校の教室で一人の子どもが席を 離れてうろうろしている。 先生が「席に戻れ」と言っても戻らない

この子の離席行動は何によって 強化されている?



- ①勉強についていけず、じっと椅子に座っているのは苦痛である(回避)
- ②席を立ってうろうろしていた方が、気がまぎれる (感覚刺激)
- ③席を立っていると、先生が声をかけてくれる(注目)

いろいろな強化子が考えられるが、これらの強化子をすべて取り除くのは困難。このため、発想を変える。

発想を変えて、この子が席に着いている時に着席行動を強化する

- ①子どもが椅子に座っている時に、何をしていてもいいから、5分おきに先生が 優しい声をかけて注目を与え、ちゃんと勉強していることを褒める。
- ②勉強についていけないのなら、簡単な計算プリントを用意してやらせる。
- ③放課後などに時間を見つけて先生が勉強を みてあげる

などの方法で遅れを取り戻す。

これらの方法で席に着いて勉強することが苦痛でなくなるようになれば、離席行動が減る。

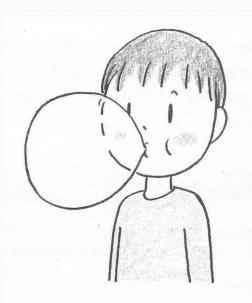
問題行動を叱るより、適切な行動を褒める

2) DROについて知っておきたいこと

1DRA (Differential Reinforcement of Alternative Behavior) 代替行動分化強化

DROが問題行動以外の全ての行動を強化するのに対して DRAは代わりになる特定の適切な行動を選んで、それを強化する手法

自分の痰を丸めて口から出し入れして遊んでいる場合、 痰のぷよぷよした触感を楽しんでいると思われるので、 痰の代替物としてチューインガムを与える。 痰で遊ぶ時間は減るかもしれない。

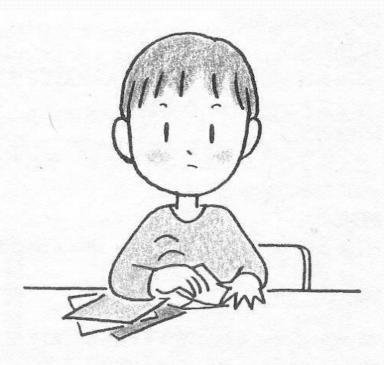


問題行動とよく似た役割(機能)を果たす、より適切な行動を見つけて、それと置き換えてやると問題行動を減らせる。

2 DRI(Differential Reinforcement of Incompatible Behavior) 対立行動分化強化

問題行動に代わる適切な行動の中で、 特に問題行動と物理的に両立できない行動を 選んで、それを強化する。

性器いじりが問題になっている子には、 両手を使わないと出来ない工作が好きになれば、 それで両手が塞がるのでその分、性器いじりを 減らせる



③DRL(Differential Reinforcement of Less Frequent) 低頻度行動分化強化

問題行動が完全になくなるのではなく、少なくなった時に、強化することで徐々にゼロに誘導していく方法。

DROを適用しようとしても、なかなか問題行動がゼロにならない時に使う。

(例) ひっきりなしに奇声をあげている子がいて、その子の奇声が止むことは めったにないが、音には強弱がある。

弱い声を出している時に、お菓子や絵本を与えるなどして強化する。

大きな声をあげている時には何も与えない。

小さな声に徐々に誘導する。

ABAの基礎

行動を理解しよう

- 1. 強化
- 2. 消去
- 3. 罰
- 4. 行動をする前の出来事 問題行動の原因を理解する 問題行動に対処する
- 1. 消去
- 2. DRO(他行動分化強化)
- 3. 罰
- 4. 事前の工夫

教え方の基本

- 1. プロンプトと強化
- 2. ディスクリートトライアル
- 3. ランダムローテーション

問題行動に対処する 3 罰

- 問題行動への基本対応法は「消去+DRO]である。 しかし、「消去+DRO]でいつも適切に対応できる わけではない。
- •他の方法がどれもうまくいきそうにない場合、<u>最後の</u>手段として罰を用いることも検討する。

罰にはいろいろな弊害があることを理解して、 慎重に用いる。

罰の問題点

罰は行動を抑制する強い力を持っている。 しかし、ABAでは出来る限り罰による対処はしないように努める

罰の弊害

• 乱用の危険

障害を持つ子どもは大人に抵抗できない弱い存在であり、罰する大人はつい怒りに駆られて罰をエスカレートしがち

• 学習の危険

子どもを叩くと、子どもがそれを学習し、今度は自分が友達や兄弟を叩くようになる

・強化の危険

叱ることも一種の注目なので、逆に問題行動を強化してしまうことがある

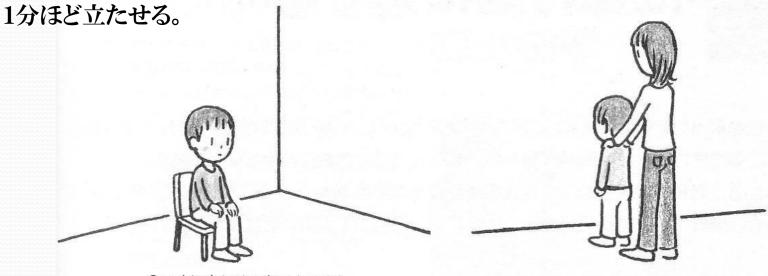
消去、DRO、事前の工夫 を尽くしてもうまくいかない場合に限って、軽い罰を使うことを検討する。 その場合も不快を与える積極的罰より、褒美を取り去る消極的罰を優先する

消極的罰

1. タイムアウト

一種の退場処分

遊び場など楽しい場面で悪いことをした場合に、罰として部屋の隅に連れて行き、3分ほど 椅子に座らせる。じっとしていない子どもでは、大人が両脇をしっかりもって壁に向かって 1分ほど立たせる



●いすに座らせるタイムアウト

●壁に向かって立たせるタイムアウト

- ・タイムアウトは楽しい時間を一時的に奪うことが目的で、不必要な苦痛を与えてはならない。
- •暗い部屋に閉じ込めたり、寒いベランダに出したりしては絶対ならない。
- ・人も目が届くように、皆と同じ部屋の隅に数分間だけ、じっとさせておく。
- ・壁に向かって立たせる場合でも、壁に押し付けてはならない。
- ・時間がきたら、何事もなかったかのように開放する。

2. その他の消極的罰

テレビを見ながら弟を抓る等の暴力をふるう場合は、暴力を振るった瞬間にテレビを消す。しばらくしたら黙ってテレビをつけ、暴力を振るったらまた消す。



食事中に立ち歩く子には、席を立った瞬間に好きな食べ物の皿を引っ込める。席に戻ってもしばらくお皿は戻さない。

積極的罰

- ABAでは不快を与える積極的罰はほとんど使わない。
- •特に体罰は絶対に行わない。

- 悪いことに対して「ダメ!」ときっぱり言うことは時に必要。(例)
 - 発達障害を持つ子どもが小学生になっても、女性の胸に手を入れるようなら、その女性は「やめて!」とはっきり拒絶するべき

ABAの基礎

行動を理解しよう

- 1. 強化
- 2. 消去
- 3. 罰
- 4. 行動をする前の出来事問題行動の原因を理解する

問題行動に対処する

- 1. 消去
- 2. DRO(他行動分化強化)
- 3. 罰
- 4. 事前の工夫

教え方の基本

- 1. プロンプトと強化
- 2. ディスクリートトライアル
- 3. ランダムローテーション

問題行動に対処する 4事前の工夫

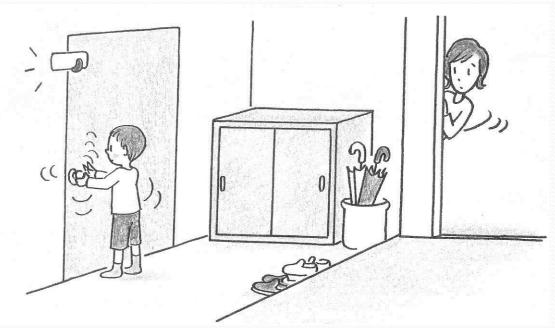
行動を本当に変化させるのは、行動の前の出来事ではなく、 行動の直後の働きかけ、つまり強化・消去・罰である。 問題行動への対処もこれらの結果の操作が中心になる。

子どもが大きくなってくると、消去に対する抵抗が大きくなってくるので、事前の工夫の必要性が増していく

1. 物理的な工夫

物理的な工夫の例

- つなぎの服を着せることで、性器いじりを難しくする
- ドアに二重ロックをして、家からの脱走を防ぐ
- 踏み台を撤去することで、高い所に登れなくする
- 教室からの脱走を防ぐため、なるべく入口から遠い席に座らせる



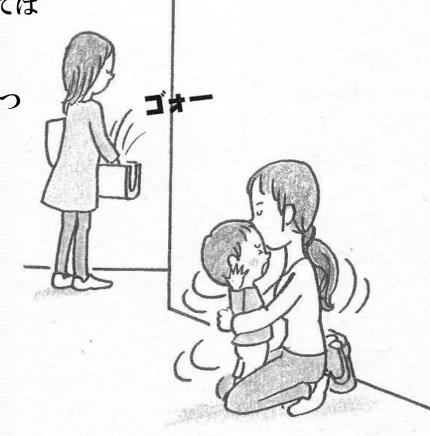
ドアに二重ロックすると、子どもがドアを開けようとしても開かないので強化が得られないこのため、ドアを開けようとする行動が消去される。

2. 引き金刺激の除去・緩和

問題行動の引き金になる刺激を取り除くことができれば、問題行動は確実に減る。 運動会のピストルの音が怖くて参加できない場合は、ピストルをホイッスルに変えれば 解決できる。

しかし、引き金を生活から取り除けないこともよくある。 水洗トイレの流水やエアタオルの音が怖い子どももいる。 これらはトイレにつきものなので、これを避けていては トイレに行けない。

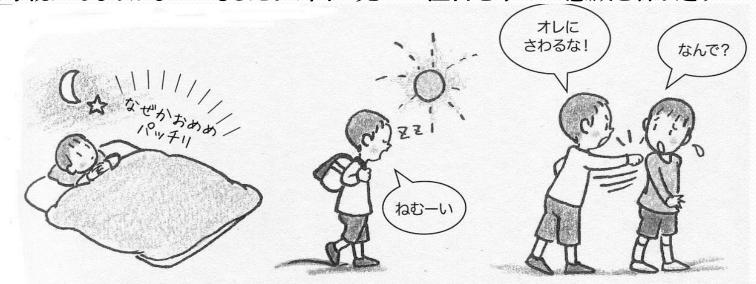
怖い刺激に慣れさせる訓練が必要になる。 最初はしっかり抱きしめ安心させながら、少しずつ 刺激に慣れさせていく。



③. 動機づけ操作

本人の内心の状態が、問題行動を起し易くしている場合がある。

- ・夜、十分熟睡していないために寝不足でイライラして、訳もなく友達に攻撃仕掛ける
- ・日頃母親にあまりかまってもらえず、園で先生の注目を求めて悪戯を繰り返す



内心の状態を改善することで間接的に問題行動を減らすことができる。 寝不足の場合は、起床・就寝時間を調整したり、眠剤を処方してもらったり等 母親にかまってもらえないケースでは、母親が声かけやスキンシップを増やすとか、 園の保育士が、子どもが問題行動をしていない時にたっぷり関わりを持つなどの対処

ABAの基礎

行動を理解しよう

- 1. 強化
- 2. 消去
- 3. 罰
- 4. 行動をする前の出来事 問題行動の原因を理解する 問題行動に対処する
- 1. 消去
- 2. DRO(他行動分化強化)
- 3. 罰
- 4. 事前の工夫

教え方の基本

- 1. プロンプトと強化
- 2. ディスクリートトライアル
- 3. ランダムローテーション

教え方の基本

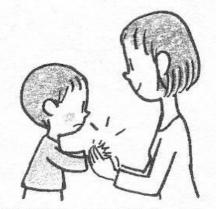
プロンプト

プロンプトとは「促す」という意味で、手助け・ヒントを意味する

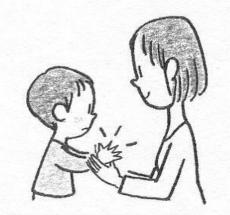
子どもに新しい行動を教えたい時、必要な手助け(プロンプト)をして その行動を実行させる。

最初は十分に手助けするが、徐々にプロンプトを減らしていく(プロンプトフェーディング)

■プロンプトフェーディングの例



●手をとって拍手をさせる



●手首のあたりを軽く押して拍手をうながす



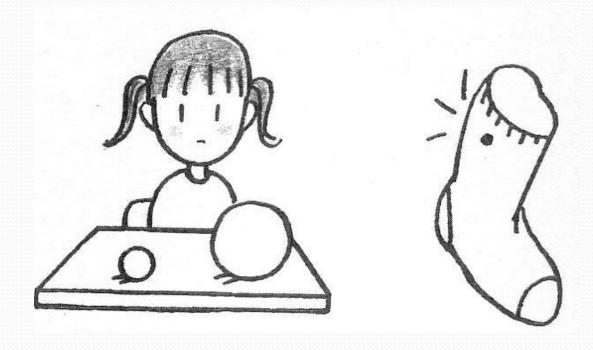
●肘のあたりをチョンとつつく

刺激プロンプトと反応プロンプト

1刺激プロンプト

刺激とは、指示の言葉や教材のこと。刺激プロンプトは、これらにヒントを組み込むこと

大小を教える時には、教材に大きさの違いを極端にしたり、 靴下を履く時、抓む場所に印をつけたりするなど



2反応プロンプト

子どもの行動(反応)に直接働きかけるプロンプト

子どもの手に大人の手を添えてやり方を教えたり、正解を指さしたり、モデルを見せたりして

手助けする。



強化

子どもが正しい反応をしたら、褒美を与えて強化する。 社会性に遅れが見られる子どもは、褒め言葉だけでは十分に強化されないので、 褒め言葉と同時にお菓子や「擽り」などの感覚的なご褒美(強化子)を与える。

強化のコツ

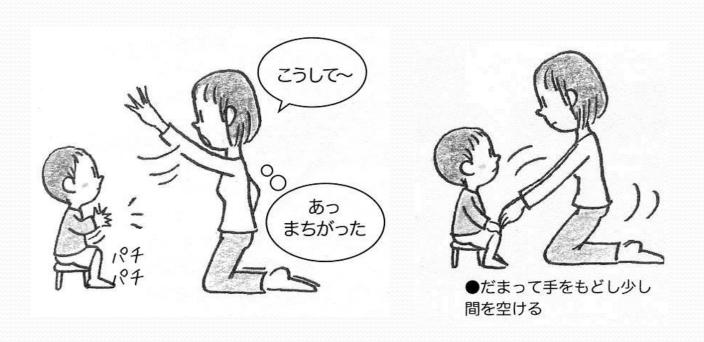
- ・子どもの正反応から1秒以内に強化
- ・強化子にバラエティを持たせる
- ・褒め言葉は心を込めて大袈裟に
- ・強化子は少しずつ与える
- ・強化子を徐々に間引く
- ・こまめに休憩をとる



誤反応・無反応への対処

子どもが正解しなかったときは、「違う」と言わずに無視して少し間を開ける。次の試行ではプロンプトして正解させる。

子どもが反応しない時は、指示を繰り返すのではなく、黙って5秒待つ。 5秒反応がなかったら、改めて指示を出し、今度はプロンプトして正解させる。





ABAの基礎

行動を理解しよう

- 1. 強化
- 2. 消去
- 3. 罰
- 4. 行動をする前の出来事 問題行動の原因を理解する 問題行動に対処する
- 1. 消去
- 2. DRO(他行動分化強化)
- 3. 罰
- 4. 事前の工夫

教え方の基本

- 1. プロンプトと強化
- 2. ディスクリートトライアル
- 3. ランダムローテーション

ディスクリートトライアル(不連続試行)

ABAでは子どもに何かを教える時に

指示→プロンプト→子どもの反応→強化

のサイクルで教える。

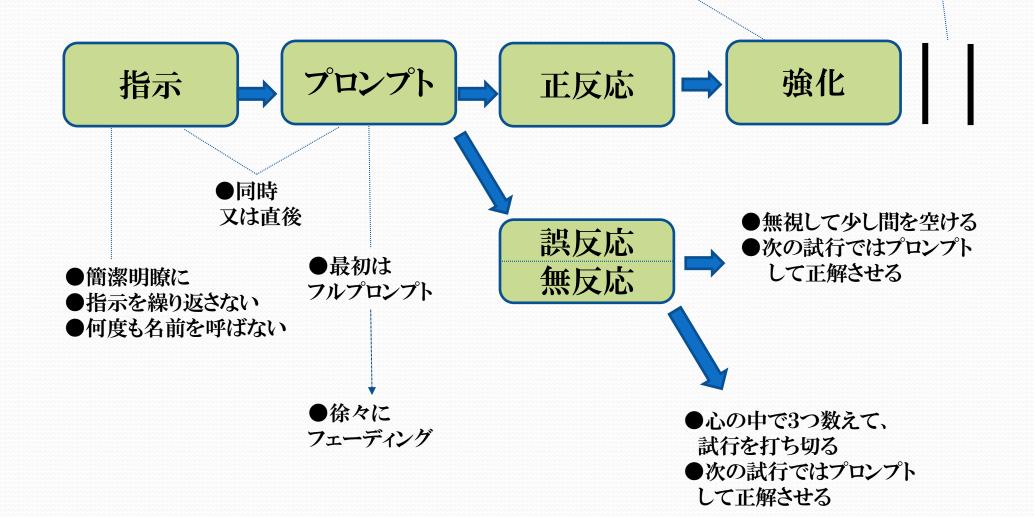
この1サイクルを「試行」(トライアル)と呼ぶ。

ディスクリートトライアル(不連続試行)とは、1つの試行と次の試行との間に短いがはっきりとし間を空けること。

それによって試行の初めと終わりが子どもにとって解り易くなる

- ●正反応の直後(1秒以内)に強化
- ●効き目のある強化子を数種類用意する
- ●褒め言葉は感情を込めて

●次の試行まで 短い間を



ランダムローテーション

ある指示に従って行動ができたと判断するには、 その指示に応えられたことだけでは不十分。 その指示ともう一つの別の指示を出しみて、子どもが その2つの指示をちゃんと区別しているかどうか、確かめる 必要がある。

2つの指示が区別出来たかを確認技法が、ランダムローテーション。

ランダムローテーションとは、2つ以上の指示を不規則(ランダム)に出して、指示通りにできるかを確認するもの。

■ランダムローテーションのやり方

2つ以上の指示を不規則に出す。

例)「は一い」「おなか」「おなか」「は一い」「おなか」「は一い」「は一い」「おなか」・・・・・



■ランダムローテーションのコツ

●ランダムで 10 回中8回以上できれば習得したと判断します

- ・ポーカーフェイス(表情でヒントを与えない)
- ・余計なヒントを出さない(正解の方をチラッと見てしまう人がいる)
- ・失敗したらそれについてプロンプトする。徐々にプロンプトを減らしていく
- ・教材の配置を時々変える

スモールステップ

- ・教えたいことを細かなステップに分けて。少しずつ教える
- ・最初はとても簡単なところから始めて、成功体験を積ませる
- ・目標に一番近い行動を強化して、少しずつ目標に近づけていく(シェイピング)

般化

セラピーで考えたことを日常生活に応用することを「般化」と言う。

セラピールームで出来るようになったことはすぐに日常生活でも促して、出来るだけ強化する。

症例1. Y.T 4歳5か月男児 ASD+ADHD

保育園訪問に来る療育機関のスタッフから、言葉の遅れ、手先の不器用さを指摘される。早期療育を勧められた為当院を受診

H27.3.31当院初診 初診時年齢2歳7か月

- ◎言葉の遅れ
- ▶ 話せる言葉(ママ・ワンワン・おいしい・ねんね)の4単語のみ
- ◎気分の浮き沈みが激しい
- ▶ テンション高い時 → くるくる回る・ジャンプする・大きな声をだす
- ▶ テンション低い時 → やる気がない・おとなしい・保育士の話を聞かない
- ▶ 自分の思い通りにならないと奇声を発する
- ◎手先が不器用
- ◎種動性
- ◎切り替えのむずかしさ

発達検査(H27年3月31日) 実年齢2歳7か月

▶ P-M 姿勢運動の発達指数 76 (2歳0か月)

► C-A 認知適応の発達指数 75 (2歳0か月)

▶ L-S 言語社会の発達指数 74 (1歳11か月)

▶ 全領域の発達指数 75 (2歳0か月)

	2:6超~3:0			2:3超~2:6			~2:3	2:0超~			~2:0	1:9超-			₫~1:9	1:6 差	100		1:3超~1:6		: 3	1:0超~1:3	1	領域
Т19	交互に足を出す					T20		飛び降り	-	T13		両足跳び	+	T18	5 28 EX	手すりて		T17	片手支持降りる	+	T12 5 T16	歩く2・3歩 片手支持登る		姿勢 運動
	四角構成 例後 2/2					P24	Q	積木の塔	-+	P23	c	積木の塔	4	P22		積木の場	+	P21	積木の塔 3	+		月子又行豆の 積木の塔 2	TL	P-M)
		•	P25	トラックの模倣		124		THINK		F 20	0	利べいが		122	B 3	和本の物		F21	損不り増 3		P20	慎本の格 2	ΙΤ	
P26	家の模倣	-								P70	i 1/3	角板 例前	+	P69	後 1/3	角板 例	+		***************************************		/3 P68	丸棒 例後 1/3	1-	認
		********	P83	形の弁別Ⅱ 8/10	_					P82		形の弁別	+	P81		形の弁別	+				9 P52	瓶から出す	1	知
		10.3011714																P74	はめ板 全 例無	+				
P7	折り紙Ⅱ	-	P78	折り紙I	-									/ P75	回転 全り	はめ板	+	P73	円板 回転	+				
3 P10	十字模写 例後 1/3	_				P102	1/3	横線模倣	_					P101	模倣.	円錯画	_				列前 P100	なぐり描き例前	+	適
P10	円模写 1/3		P103	縦線模倣 1/3	_																			応
1	*		P77	入れ子 5個	+									P76	3個	入れ子	4	P67	予期的追視	+				
						P113		記憶板 2/2						3 P98	ップ 2/3	3個のコ	+	P97	2個のコップ 2/3	+	P65	包み込む	+	C-A)
V	3数復唱 1/3				L	V1	1/3	2数復唱 1.	_															
																	ļ						ļ	言
						ur.(000)000																		27. 200
/6 V	長短比較 3/3、5/0		6 V8	大小比較 3/3、5/6		-							-										-	
		_	-	絵の名称Ⅱ 3/6	-	V33	T 5/6	絵の名称:	_	V32	I 3/6	絵の名称		-			-	V45	語彙3語	+			-	
V4	色の名称 3/4				+	7 00	1 0/0	724 7 7 1 17/	-	102	1 0/0	424 × 7 12 100		V31	4/6	絵指示	+	V 40	日本を入り日		V30	指さし行動		社
V3	姓名	-		-				***************************************								-1x10-1,					* 30	16 C C 11 30	1	会
V371	年齢	-												V27	邪 3/4	身体各部	+							4
V10	表情理解 Ⅱ 3/4	_				V10b	I 5/6	表情理解	+															L-S)

▶ 平成27年5月22日よりABA開始

VB:音声指示、音声模倣、口形模倣

DTT:着席維持

- ▶ 平成28年1月(3歳5か月) 2語文が出る
 DTT:頂戴、貸して
- ▶ 平成28年5月(3歳9か月) 3語文が出てくる DTT:数の概念、物の名称、色の名称、箸の使い方
- ▶ 平成28年10月(4歳2か月) ひらがなが読める

発達検査(H28年10月8日) 実年齢

実年齢 4歳2か月

新版K式

発達年齡

▶ P-M 姿勢運動の発達指数 上限突破

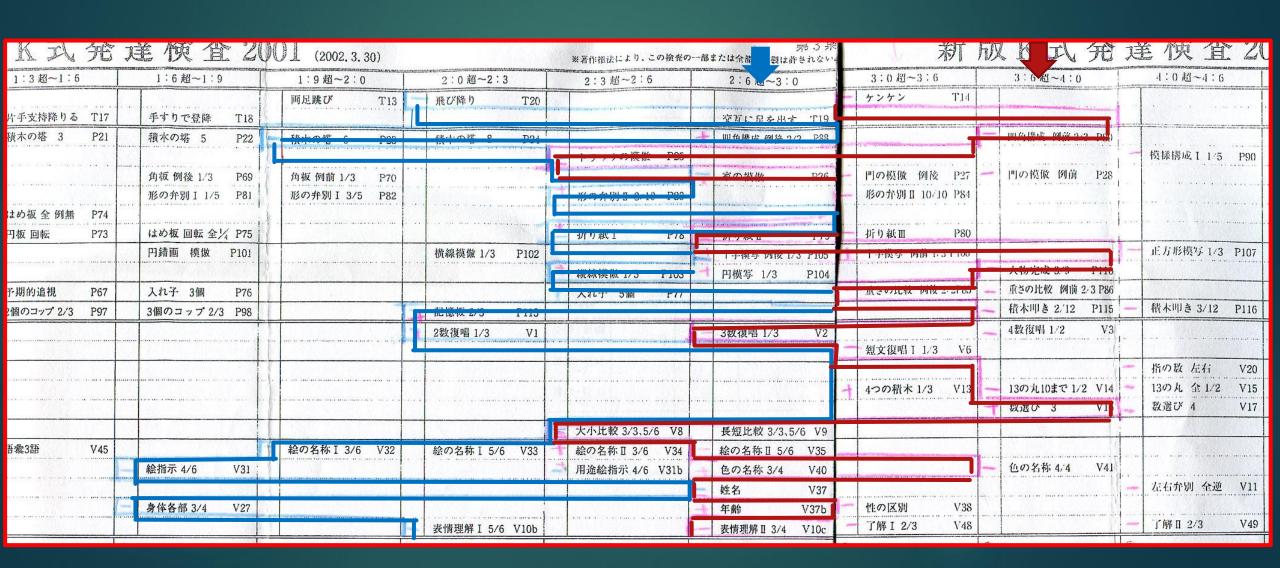
► C-A 認知適応の発達指数 92 (3歳10か月)

▶ L-S 言語社会の発達指数 98 (4歳1か月)

▶ 全領域の発達指数 96 (4歳0か月)

ال	T	IN H.)1 (2002. 3. 30)				**	著作権法により、この検査の一角		WHEN PER PER PER				0:0 10 1:0	70111	4:0超~4:6	4:6超~5:0	5:0超~5:6	5:6超~6:0
	1	1:6超~1:9		1:9超~2:0		2:0超~2:	3	and in the	2:3 超~2:6	2:6超~3:0		領域	3:0超~3:6		3:6 紅~4:0	-	4.0 kg~4.0	T		
				両足跳び ′	T13	飛び降り	T20		1			姿勢 一	ケンケン T	14				Supplementary and the		Later plants of the party of
T17	手	すりで登降 T1	8		0.000	ALL CHILD SERVICE SERVICE	12 27,83	ADDED :		交互に足を出す	T19	運動 ::	P. West Samuel Street, 196				The state of the s			
P21	積	木の塔 5 P2	2	積木の塔 6	P23	積木の塔 8	P24		+	四角構成 例後 2/2	2 P88			-	四角構成 例前 2/3 P89		and the law of the control of the co	模様構成 1 2/5 P91	and the second s	模様構成 I 3/5 P92
1 44000 1 1 240				The second cannot be a second or second					トラックの模倣 P25			122		-		**	模様構成 I 1/5 P90 一	100 DK THE DK 1 2/5 1 91	階段の再生 P29	
	角	板 例後 1/3 P6	9	角板 例前 1/3	P70			1		家の模倣	P26	ter i	門の模倣 例後 P	1111	門の模倣 例前 P28	-			PHPACETERS 150	
	形	の弁別 I 1/5 P8	1	形の弁別 I 3/5	P82			1- i	形の弁別 🛭 8/10 P83			, -t	形の弁別 II 10/10 P	34				玉つなぎ 1/2 P95		
P74		F 1780. Come 170 months in Contra		The second of th										-				E 24 6 1/2 133		
P73	は	め板 回転 全¼ P7	5					+ 1	折り紙I P78 ブ		P79			30	-		TO HERE MARKET LAND DIGT		三角形模写 1/3 P108	
	+ 円	錯画 模倣 P10	1		1-1	横線模倣 1/3	P102	100		十字模写 例後 1/	3 P105	7-	十字模写 例前 1/3 PI	06			正方形模写 1/3 P107	人物完成 6/9 PIII		人物完成 8/9 P112
	Depart : Newson.		COAL MARKETON	CONTRACTOR SECTION SEC	112					一 円模写 1/3	P104	心	12	-	人物完成 3/9 P110	-		X49961X 0/9 1111		741976194 07 0 1111
P67	J.	.れ子 3個 P7	6						入れ子 5個 P77			7	- 重さの比較 例後 2/2P	85 7	重さの比較 阿前 2/3 P86	_	積木叩き 3/12 P116 -	積木叩き 4/12 P117 ~	秋木叩き 5/12 P118	積木叩き 6/12 P119
P97	3個	固のコップ 2/3 P9	8		1	記憶板 2/3	P113					(C-A)		-+	積木叩き 2/12 P115			TH ACTO 47 12 . 1 117	T BOTTO OF THE COLUMN	
					+	2数復唱 1/3	VI		. +	3数復唱 1/3	V2	-		4	4数復唱 1/2 V3		414.3			
							Apple Sept. Trans					-	短文復唱 I 1/3	/6	X.J. March	-	\$6 tos	He m the shorter A 1701		
-						- Company						8			160)	指の数 左右 V20	指の数 左右全 V21	5以下の加算 3/3 V23	
			a ic bossess									316 +	ト 4つの積木 1/3 V	13 +	The same and the s	-	13の丸 全 1/2 V15	5以下の加算 2/3 V22 数線び 6 V18	CONTRACTOR OF THE PARTY OF THE	
			e 10 m	And the second second second second						3/6				-1		+	数選び 4 V17 4	******	数選び 8 (5) V19	13の丸 理解(II) V15c
						ALL STORESTONE CONTROL AND A STOREST AND A S		+ :	大小比較 3/3、5/6 V8	長短比較 3/3、5.	/6 V9				かくり、こなか(ろいか)		-	13の九 理解(I) V15b	100	130776 26月年(日) V136
V45				絵の名称 I 3/6	V32	絵の名称 I 5/6	6 V33		絵の名称 II 3/6 V34 →	絵の名称Ⅱ 5/6	V35	it:			-			13 23 .0		
	絵	指示 4/6 V3	1	Commence of the Commence of th	Water Street	a company and a	-		用途絵指示 4/6 V31b	色の名称 3/4	V40			4	色の名称 4/4 V41				- 硬貨の名称 3/4 V39	ナナカ畑 人工 ソル
							a (1 de 1991) (1 de 1		L	姓名	V37	安				+	左右弁別 全連 V11		- 語の定義 4/5 V51	左右弁別 全正 VI
	dy.	体各部 3/4 V2	7							年齢	V37b	1	- 性の区別 V	38			San			
				(1)(0)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)		表情理解 I 5/6	c 1/10:			表情理解 [] 3/4	1/100	181	- 了解 I 2/3 V	48		_	了解 [[2/3 V49	_	· 了解Ⅲ 2/3 V50	1

症例:3歳7か月女児



4歳2か月女児

		K 式 発 達物 查 2001 (2002
		:6超~4:0 4:6超~4:6 4:6超~!
T20	_ ケンケン T14	
	十 交互に足を出す T19	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
P24	十 四角構成 例後 2/2 P88	角構成 例前 2/3 P89
	の模倣 P25·itralic	一 模様構成 I 1/5 P90 模様構成 I
		の模倣 例前 P28
	II 8/10 P83 ジナムの73・・・ — 形の弁別 II 10/10 P84	
	410	玉つなぎ 1/
	P78 折り紙 I P79 - 折り紙 II P80	
P102	十字模写 例後 1/3 P105 十字模写 例前 1/3 P106	正方形模写 1/3 P107
	1/3 P103 円模写 1/3 P104 人	物完成 3/9 P110 人物完成 6/
-	個 P77 重さの比較 例後 2/2P85 重さ	さの比較 例前 2/3 P86
P113	— 積7	木叩き 2/12 P115 積木叩き 3/12 P116 積木叩き 4/
V1	- 3数復唱 1/3 V2 4数	文復唱 1/2 V3
	「 L ^{tのら} ー 短文復唱 I 1/3 V6	
		指の数 左右 V20 指の数 左右
	■ 4つの積木 1/3 V13 130	の丸10まで 1/2 V14 13の丸 全 1/2 V15 5以下の加勢
	_ 数	選び 3 V16 数選び 4 V17 数選び 6
	3/3.5/6 V8 長短比較 3/3.5/6 V9	13の丸 理解
V33 -	I 3/6 V34 - 絵の名称 II 5/6 V35	
	示 4/6 V31b + 色の名称 3/4 V40 - A V40	の名称 4/4 V41
	一 姓名 V37	左右弁別 全逆 V11
	+ 年齢な 2-10 45 V37b - 1 性の区別 V38	
V10b		了解 🛚 2/3 V49
-		(6)
V1	6 (\$ \(\tilde{V} \) \(\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc

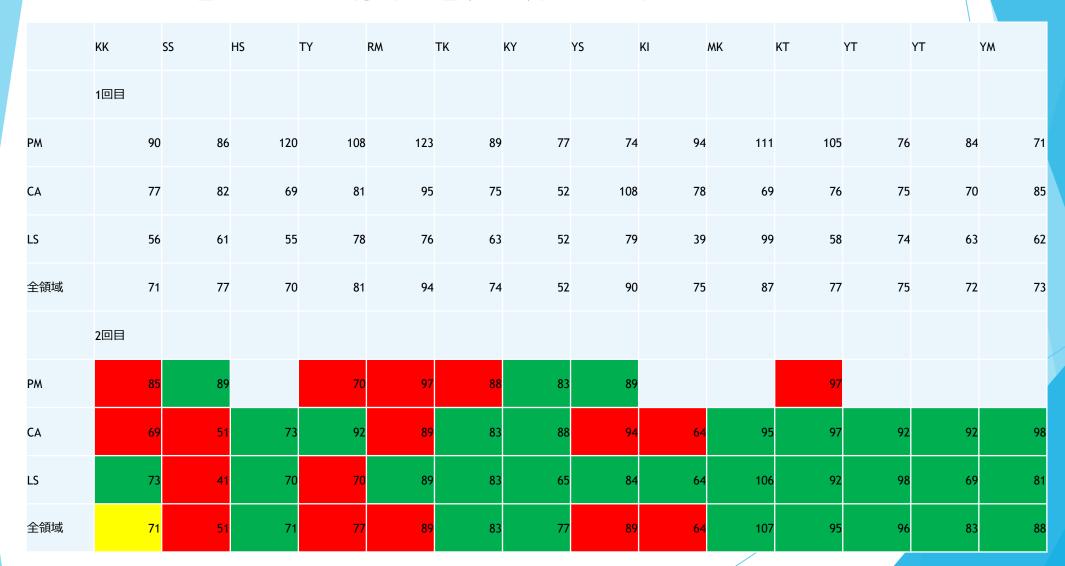
2001 (2002. 3. 30) ※著作権法により、この検査の一部または全部の複要は許されない。):8 超~0:9(245~274日) | 0:9 超~0:10(275~304日) | 0:10 超~0:11(305~335日) | 0:11 超~1:0(336~365日) 片手立ち 玩具 T5 つかまり立ち上がる T6 つたい歩き 一人立ち T11 遺い登る T15 支え歩き 両手 T9 支え歩き 片手 T10 座位となる R19 四つ遣い R18 積木と積木 P12 第2積木を叩く P11 積木を置く 十 積もうとする 十 コップに入れる例後P35 - コップに入れる例前P36 中の積木に触れる P32 コップの上に示す P34 中の積木を出す P33 鋏状把握 釘抜状把握不完全 P43 **计** 釘抜状把握 小鈴を取る 入れようとする P49 瓶に入れる 例後 P50 | → 瓶に入れる 例前 'P51 柄先から持つ 一十 鏡舌に触る すぐ輪を引き寄せるP61 紐で下げる 全体隠し 円板をはずす P71 † 円板をはめる ++ なぐり描き 例後 P99 → ボールを押しつけるM28 指さしに反応 「バイ・バイ」 M12 「メンメ」 「チョウダイ」渡すM17 検者とボール遊び M29 52. 16. (102) 38. 60. 16. (114) 40. 67. 19. (126)

症例 K.U. 3歳2か月男児

地	1:0超~1.3		1:3超~1:5	Zija wali	H	1.5超~1:9		1:9超~2:	0		2:0超~2:3			2:3超~2:6		2:6超~	3:0		3:0超~3:6		
势	#: < 2 · 3%	TI	7-1-					而足.N.CF	T13		飛び降り	T20						-	ケンケン	T14	
動 M)	片手支持登る	T16	片手支持降りる	T17	1	すりで登降	T18							7312		交互に足を					
	積木の塔 2	P20	積木の塔 3	P21	Ð	木の塔 5	P22	積木の塔 6	P23	1+	積木の塔 8	P24				四角構成 例	後 2/2 P88				
													1	トラック模倣 F	25	,					
2	丸棒 例後 1/3	P68			角	板 例後 1/3	P69	角板 例前 1/3	P70							家の模倣	P26		門の模倣 例後	AND PROPERTY.	P
1	瓶から出す	P52			Ħ	多の弁別 I 1/5	P81	形の弁別 I 3/	'5 P82				+	形の弁別 [8/10 F	83			1	形の弁別 🛘 10/	10 P84	
			はめ板 全 例無	P74									-	10	MANADON 2152	meno prantaniminare como	reminostati in Company	Table 1	TOTAL STREET	CONTRACTOR OF THE PARTY OF THE	
			円板 回転	P73	l:	はめ板 回転 全火	P75							折り紙I. F	78	折り紙Ⅱ	. P79	_	折り紙皿	P80	
	なぐり描き例前	P100		TO YES	Р	引錯画 模倣	P101			+	横線模倣 1/3	P102	aup to		nauan	十字模写 例			十字模写 例前 1.	/3 P106	
-										-	Micheline - Comme		frances-	THE RESERVE THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO IS NOT THE OWNER.	03	一 円模写 1/	3 P10	1	No.		- /
-			予期的追視	P67	+ 7	れ子 3個	P76				/3 記憶板 2/3		土	入れ子 5個 F	77				重さの比較 例後	2/2P85	1
A)	包み込む	P65	2個のコップ 2/3	P97	3	個のコップ 2/3	P98				記憶板 2/3	P113		, .							- A
-	1				840						2数復唱 1/3	V1				3数復唱 1/	3 V2	2			4
				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,															短文復唱 I 1/3	V6	
-				17.00	70											atro. H. Driver als in the St. College	nzanamentenasa	SUP TOTAL PRO		MANOREM &	
ļ						y				and the same	atarografication attention and accommendation		101277,00		-			and and the	4つの積木 1/3	V13	1
											AND THE PROPERTY OF THE PARTY O	emether.		FOR ALL PROPERTY OF THE PROPER	12000000						. 1
-				110						1	DAYS AND RECORD OF	2.00	+	大小比較 3/3、5/6	V8	長短比較 3	3/3,5/6 V				
-			語彙3語	V45			-	絵の名称 I 3/	6 V32	1	絵の名称 I 5/6	V33	1	絵の名称 II 3/6 V	34	├ 絵の名称Ⅱ	5/6 V35	1			
-	指さし行動	V30	の日来の印	4 40	4	≩指示 4/6	V:31			1			1-11	用途絵指示 4/6 V3	31b	色の名称は	3/4 V40	0			f
	損るし行動	V 30				47B-71 47 U	101			1.	-		1			姓名"72%	190 V3	7			
·						体各部 3/4	V27								1	十 年齢	V371	D H -	性の区別	V38	
						1 17 CF CF 3/4	121			1	表情理解 I 5/6	VIOL	1		1	表情理解Ⅱ	3/4 V10		了解 I 2/3	V48	

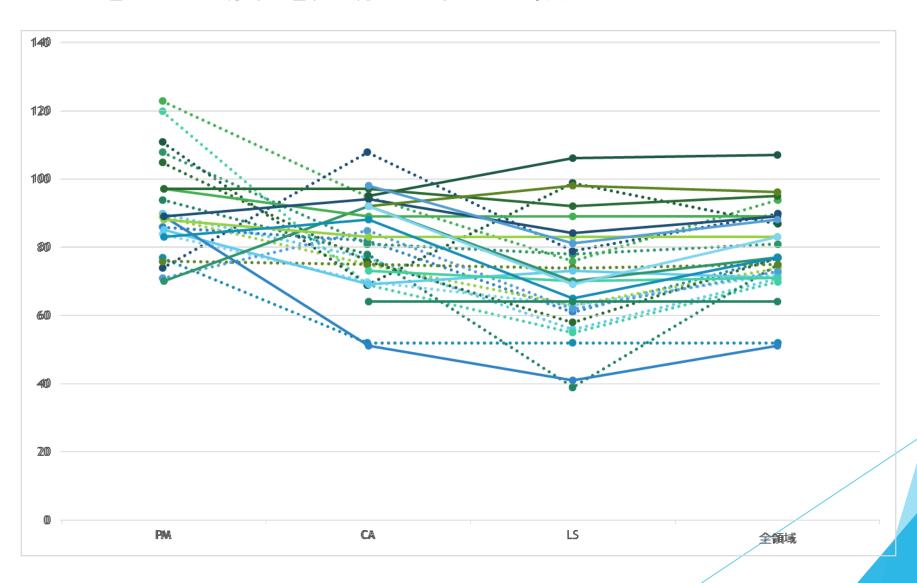
新版K式発達検査における変化

► ABAを用いた療育を定期的に行った症例



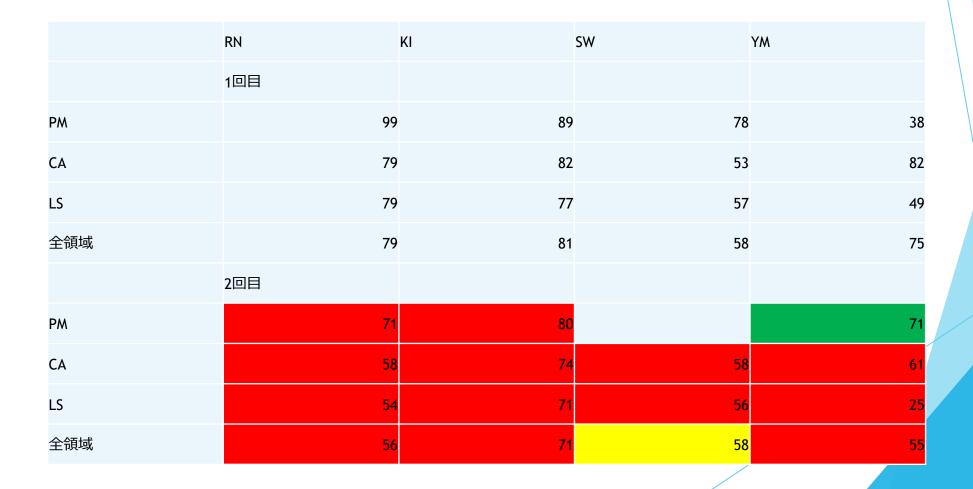
新版K式発達検査における変化

► ABAを用いた療育を定期的に行った場合



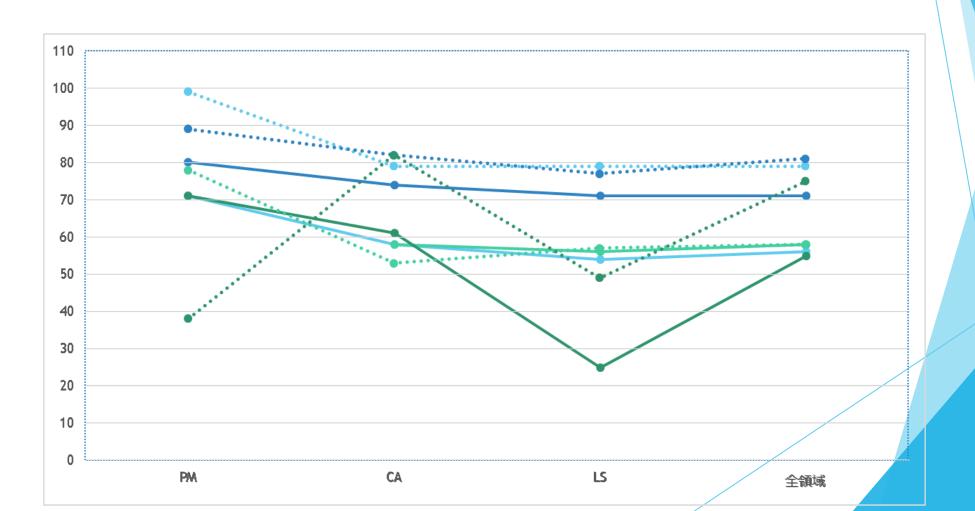
新版K式発達検査における変化

- ▶ 他の療育機関で療育を受け、当院でのABAの療育を全く行っていない症例
- ▶ またはキャンセルが多く不定期な療育しかできなかった症例



新版K式発達検査における変化

- ▶ 他の療育機関で療育を受け、当院でのABAの療育を全く行っていない症例
- ▶ またはキャンセルが多く不定期な療育しかできなかった症例



ABA訓練が発達に与える影響

	ABA訓練あり			ABA訓練なし			
新版K式 発達検査	上昇	横ばい	低下	上昇	横ばい PMは上限突破	低下	
姿勢・運動	3	6	5	1	1	2	p=0.80403
認知・適応	9	0	5	0	0	4	p=0.02334
言語・社会	12	0	2	0	0	4	p=0.0000688
全領域	8	1	5	0	1	3	p=0.1189

上昇:DQ 5 以上上昇

低下:DQ 5 以上低下

横ばい: DQ +4~-4

ABA療育での変化のまとめ

- > 定期的なABA療育を行っていて、家でもABA的育<mark>児をしている場合は発達に通常以上の伸びがみられる</mark>
- →分野別では言語・社会の領域の伸びに効果がある。
- ▶療育が不十分だった場合や、適切でない療育を受けている場合、発達の伸びが悪く、相対的に全体的に下がっている
- ►ABA療育を行っていても、自宅でのトレーニングが不十分 だと後退してしまうものもいる

"

ペアレント・トレーニング

"

頻発するトラブル

ADHDの子ども

養育能力不足と 咎める

ADHAの子の親

周囲への謝罪・気配り

周囲の環境

周りの子供達

先生 周りの子供の親 近隣の人達

やっぱりこの子は!

(他罰・攻撃)



(焦り・混乱)



ADHAの特性を持つ



反抗・強情・言い争い

(怒り)



(無力感)



親子の悪循環



温かみのある関わりを失う

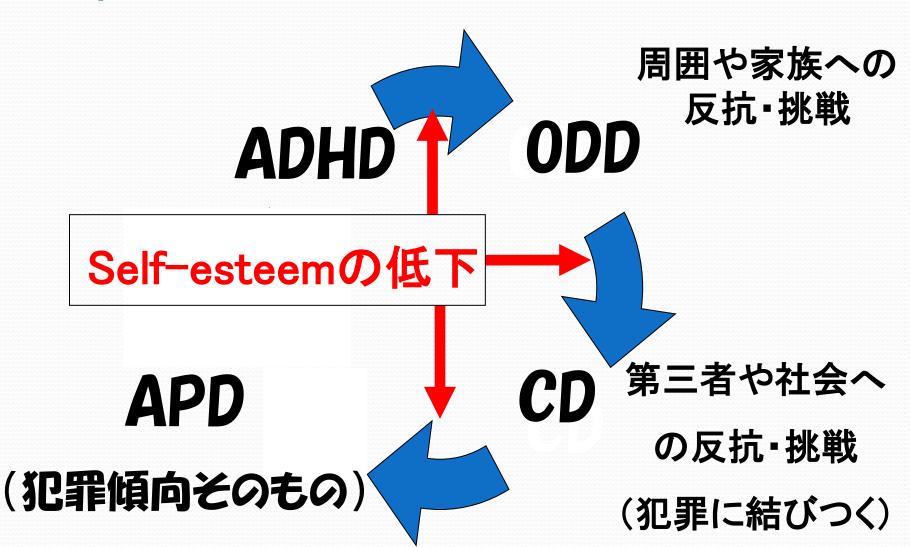
(拒否感・抑うつ)



(自己嫌悪・自信喪失)

DBD7-F

(Destructive behavior disorder)



やっぱりこの子は!

(他罰・攻撃)



(焦り・混乱)



ADHAの特性を持つ



反抗・強情・言い争い

(怒り)



(無力感)



親子の悪循環



温かみのある関わりを失う

(拒否感・抑うつ)



(自己嫌悪・自信喪失)

ペアレント・トレーニングの実際

- まめの木式ペアレント・トレーニングのプログラムは、 5~8名程度のグループで進めていく。
- 途中からの参加は原則認めない。
- 子どもの年齢差、能力差、障害特製の差は少ない方が進めやすい。
- 参加する顕著な性格の偏り、心理的情緒的な大きな問題、 深刻な家庭間の人間関係の問題などがある場合、グルー プでの協同作業は難しく、個別の対応を考慮する。

ペアレント・トレーニングの実際

まめの木式ペアレント・トレーニング

(国立精神神経センター研究所児童部によるC.Whitham式プログラムの改良型)

オリエンテーション(目的など)						
セッション1	子どもの行動を3つに分ける					
セッション2	肯定的な注目					
セッション3	好ましくない行動を減らす①					
セッション4	好ましくない行動を減らす②					
セッション5	子どもの協力を増やす① 効果的な指示					
セッション6	子どもの協力を増やす② 効果的な指示					
セッション7	子どもの協力を増やす③ BBC					
セッション8	制限を設ける					
セッション9	学校・園との連携					
セッション10	ふりかえり					

①子どもの行動を3種類に分ける(セッション1)

好ましい行動

望ましい行動 好きな行動 今していて/できていて、 更に増やしてほしい行動

(例) おはようと言う、歯 を磨く、着替えをする、等



肯定的な注目を与える (褒める)

セッション2

好ましくない行動

望ましくない行動 嫌いな行動 今していて、減らして欲し い行動

(例)騒ぐ、喚く、愚図る、 話に割り込む、屁理屈を言 う、等

無視=注目を取り去る 好ましい行動を待って褒める

セッション3・4

危険な行動・許し難い行動

人を傷つけるような行動 許し難い行動 止めさせたい行動 いくら指示しても止めない しつこい行動 (例)自分や他者への暴力、

暴言、物を壊す、等

制限を設ける: 警告と罰(ペナルティー)

セッション8

②肯定的注目(セッション2)

好ましい行動、今できている行動でよいと思われる行動みつけ<mark>て、親に書き出し</mark>てもらう。その行動に対して、具体的に肯定的注目をする練習をする。

肯定的注目とは:

褒めること、励ますこと、認めること、感謝すること、笑顔を返すことなど、広く子供を肯定的にみることすべてを含む

褒める際には、ほんの少しでも課題をやり始めたら すかさず褒め、やっている 最中にも褒め、終わったら再び褒める。

子どもに褒められていることが子どもに伝わり易いように、親は体を向け、視線を合わせ、穏やかな表情や声で褒める。褒める言葉は簡潔明瞭に伝える。 具体的に何をして褒められたのかが、子どもに解るように、具体的な行動を示して褒めることが必要。

(例)

) 宿題を思い出したら、先ず、褒める

「宿題あることを思い出したの!?偉いね」(褒める)

② 部屋へ向かうために腰を上げたら、褒める

「あ、もう宿題しに行くのね」(気が付いていることを伝える)

「早速始めるのね。早いのね」(褒める)

「何の宿題が出ているの?」**(関心を示す)**

③ 教科書を出したら、褒める

「もう教科書を出したの?速いね」(褒める)

「どんな問題?」(関心を示す)

4 宿題を始めたら、褒める

「おっ!始めたね」(**気が付いていることを伝える**)

「すぐ始めて、偉いね」(褒める)

「5番まで出来たら声をかけてね」(関心を示す)

⑤ 声をかけてきたら、褒める、再び関心を示す

「もう出来たの?早いね」(褒める)

「どれどれ、見せて」(**関心を示す**)

6 宿題をしている最中に褒める

「この字、綺麗に書けてるね」(褒める)

子どもが母親の方を見てきたら、Vサインを返して微笑みながら頷き「いいよ、その調子!」というメッセージを送る

⑦ 終わったら褒める

「頑張ったね」「上手に出来ているよ」**(褒める)**

行動を褒める

漠然と「いい子ね」「偉いね」と子どもを褒めるのではなく **子どもが出来ている行動を具体的に指摘し、褒める。**

それによって、子どもはなにをしたらよいのか、どう行動 をすれば褒められるかを理解できる。

- 「片付けが上手だね」
- 「お皿を取ってくれてありがとう」
- •「我慢して止めたんだね」 〇
- 「いい子ね」 ×→ 「静かに待っているのね。いい子ね」 ○
- •「偉いね」 ×→「ご挨拶が上手に出来るんだね。偉いね」 ○

漠然とした「いい子ね」「偉いね」との 声かけの問題点

漠然と「いい子ね」「偉いね」と声かけだけだと、

① 「自分はいい子なんだ」「偉いんだ」と<u>不当な万能感</u>を抱く

② 「いい子じゃないとダメ」「偉くない自分は価値がない」と 考えるようになる (=自己肯定感の低下)

3 好ましくない行動を減らす

(注目を取り去り(無視)、待つ、褒める:セッション3,4)

好ましくない、減らしたい行動に対しては、「注目を取り去る(無視)、暫く待って、 好ましい行動がでたらすかさず褒める」という対処をする。

子どもは、親だけでなく、多くの人から注目してもらいたがる。たとえ良くない行動をして叱られるという否定的な注目であっても注目を得たがる。注目引きに反応して叱っている(親が何とか対応しようとしている)と、その好ましくない行動を強化してしまうことになる。親は増々叱るという悪循環を促進することになる。

好ましくない行動に対する否定的注目を止め、好ましい行動が出るのを素知らぬ 顔で待つ(=無視)。無視は子供の行動を変化させる強力な方法であるだけでな く、親子の悪循環を避ける効果的な方法である。

- **④子どもの協力を増やす**(効果的な指示:セッション5,6,7) 子どもの協力を引き出すために**効果的な指示を使う**。
- 親が指示を出すときには、「穏やかに(Calm)」「子供に 近づいて(Close)」「声の調子を抑えて静かに(Quiet)」 指示を出す。(=CCQ)
- CCQを用い、短く、具体的な指示を与える。
- 時に「予告」「選択」「〇〇したら△△できる」などを併用する。

4子どもの協力を増やす(効果的な指示: セッション5,6,7)

- 「予告」するとは 「あと5分で終わるよ」「あと3回したら帰るよ」など。予告して 子どもが今行っている行動を許可し、すべき行動を指示する。
- 「選択」とは

「赤い服にする」「青い服にする」と選択肢を提案することで、 子ども自身が選ぶことができ、命令されるより気持ちよく指示 に従うことができる

- 「〇〇したら△△できる」という取り決め提案するやり方で、
- 「服を着替えたらテレビを見てもいいよ」など

いずれも子どもが指示に少しでも従ったら、必ず直ぐに褒める

⑤制限(セッション8)

可能な限り「褒める」「無視、待つ、褒める」「効果的な<mark>指示」で</mark>対応する。これらをしっかり行えると、声を荒げたり、ペナルティーを与える必要は殆どなくなる。

それでも子どもが許し難い(危険な)行動を繰り返す場合、制限 を加える。

警告を与え、それでも指示に従わなかった場合、従わない選択をした結果として、ペナルティーという責任を負わせる。

①~④のプロセスなしにペナルティーを用いると逆効果となる。

ペアレント・トレーニングで大切なこと

スタッフが、参加している養育者を常に肯定的に 見守り、励まし、評価し続けることが大切。 親に批判的であったり、プログラムの進行のために親を追い詰めたりすることは厳に慎むべき。

スタッフは常に親の「できている」ことに 注目する。





スタッフや他のメンバーに「できている」と注目される

親自身が「やってみる」気になる。





グループの場で振り返って親自身が 「やれていると気づく」。

Take Home Message

- ・発達障碍児の問題行動は
- ①要求の実現、②嫌な事態の回避、③注目の獲得、
- 4感覚刺激の何れかまたは複数が強化子になっている
- ・ 問題行動への基本対応法は「消去+DRO」である。しかし、他の方法がどれもうまくいきそうにない場合最後の 手段として消極的罰を用いることも検討する
- 支援の目的は、自己肯定感を低下させず、社会生活が 営めるように発達を伸ばすことである。
- ・家族への支援も大切である。

最後に

平成29年1月5日に開設しました。





児童発達支援

《就学前のお子さんが対象(1~6歳)》

「褒めて育てる」ABA

ABA(Applied Behavior Analysis 応用行動折)と呼ばれる訓練法を用います。必要に応じPECS(絵カード交換方式)なども取り入れていきます。



- ★プログラムに沿った約1時間の個別訓練(ABA) を行います。
- ★訓練は保護者に同室またはモニター観察をして いただきます。
 - ・保護者にはABAの基本的なことを学んでいただきます。
 - ・発達段階に応じた集団訓練を取り入れます。
 - ・人を叩く・かんしゃく等の問題行動に家族と共に取り組みます。
 - ※要望に応じてペアレントトレーニング(PT)を 行います。
 - ※利用に際し聞き取りを受け、サービス利用契約 を結びます。((株)えるふ)
- ★専門性の高いスタッフチームとして支援して いきます。

精神保健福祉士(PSW) 社会福祉士(SW) 保育士 理学療法士(PT) 自閉症スペクトラム支援士 心理士

放課後等デイサービス

《小学生以上のお子さんが対象》

学習支援

・不得意な教科 ・宿題・予習・復習

感覚統合(遊び)

·PTの指導

グループ療育SST

社会生活(学校・お友だち・きょうだい間など)での困り事を中心に、自立したコミュニケーション 法と社会性を身につけていきます。SSTなど。

〈内容 基礎調査〉

- グループ分け
- ・社会性 コミュニケーション 学習
- ・ロールプレイ
- ・復習 遊び





▶御静聴ありがとうございました。